

ヤマハニュース

YAMAHA NEWS

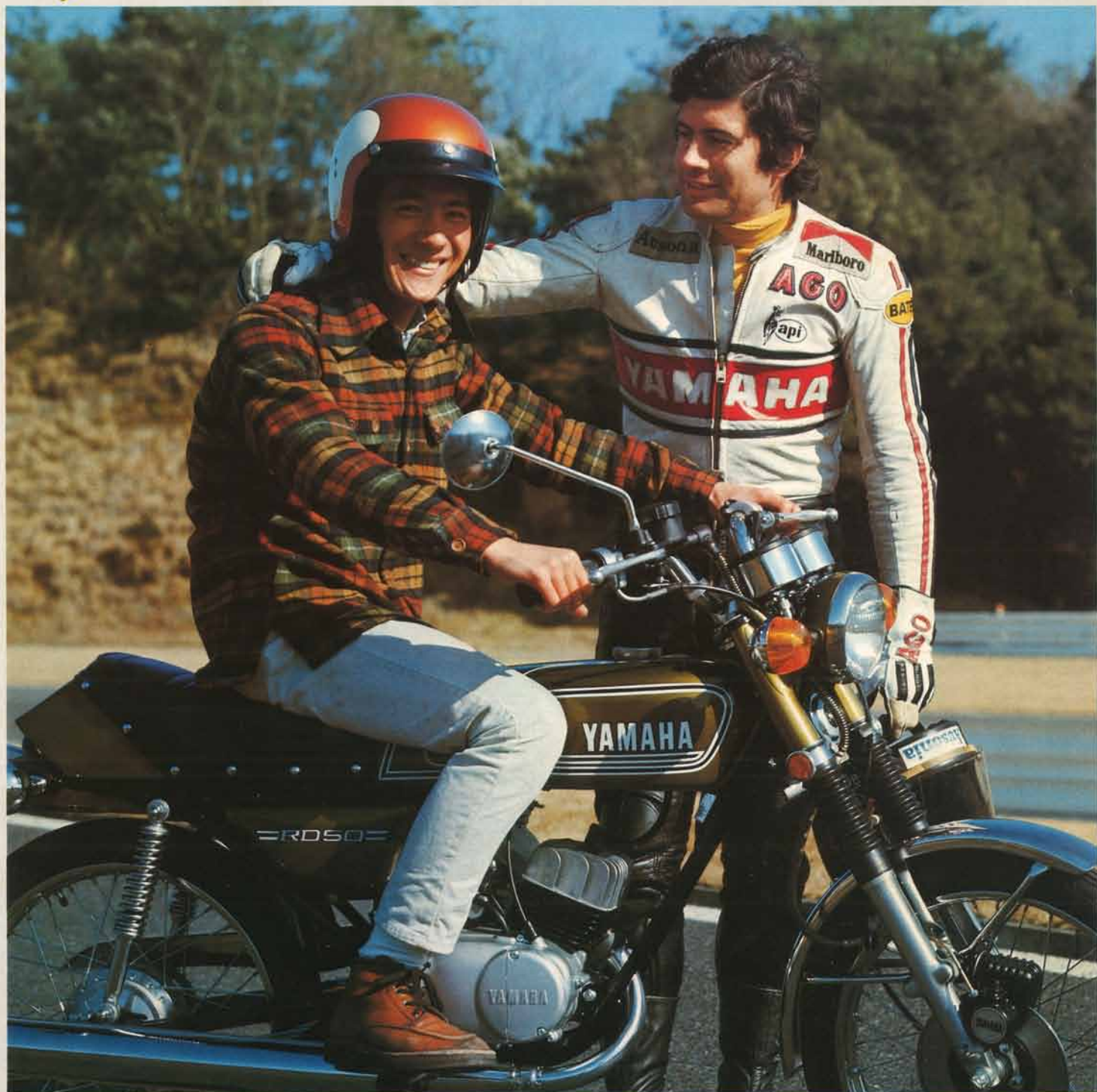
3

1975 MAR. NO.141

新発売

ヤマハトライアルTY125/TY250
ヤマハモトクロスサーYZ125/YZ250

NEW ヤマハレッドアロー
RC-100M・II



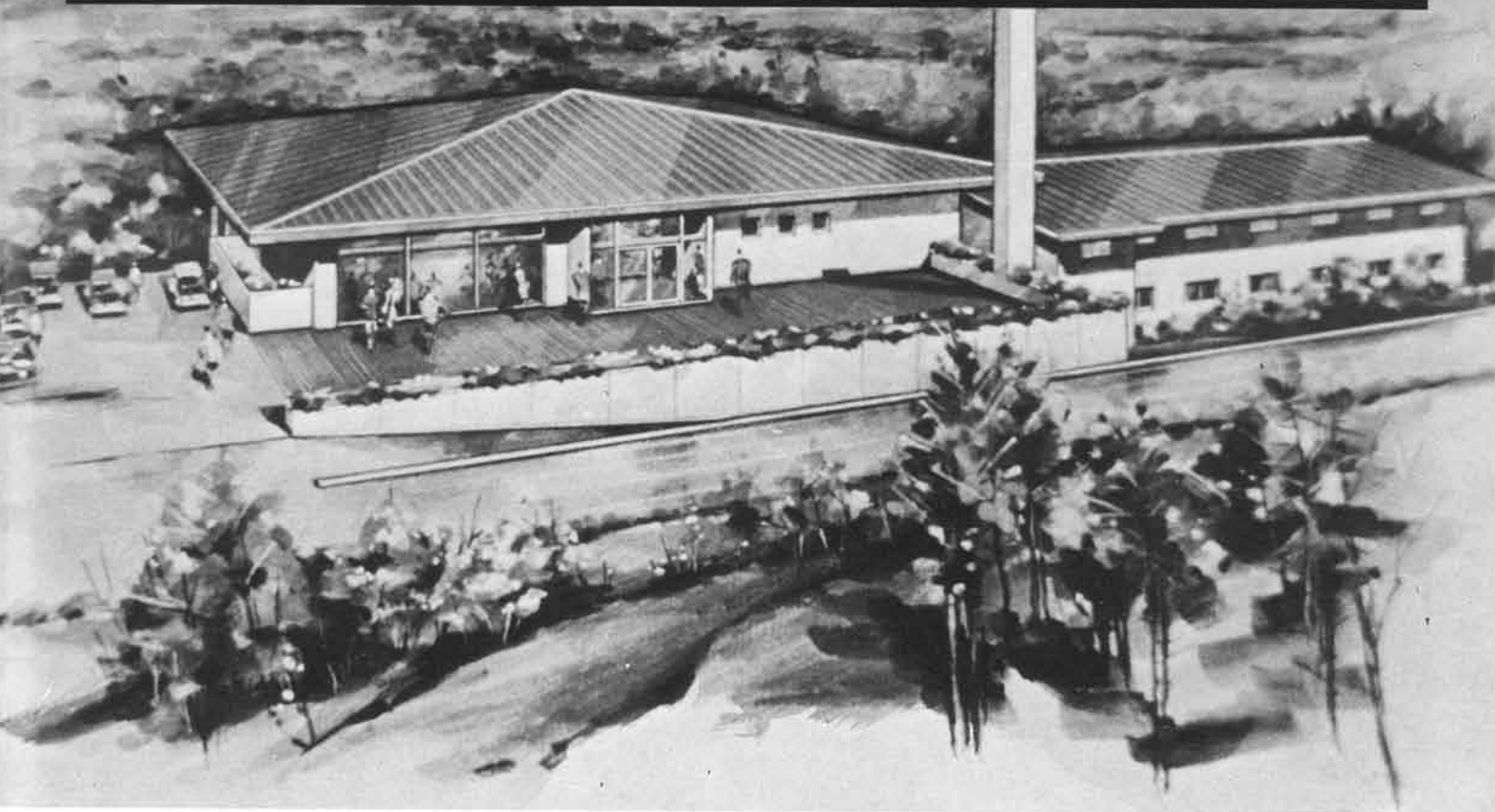
新発売

ヤマハスポーツ

RD50

世界の至宝G.アゴスティーニ
選手とニューRD50の若者

深呼吸もまた新鮮な「菅生」の朝

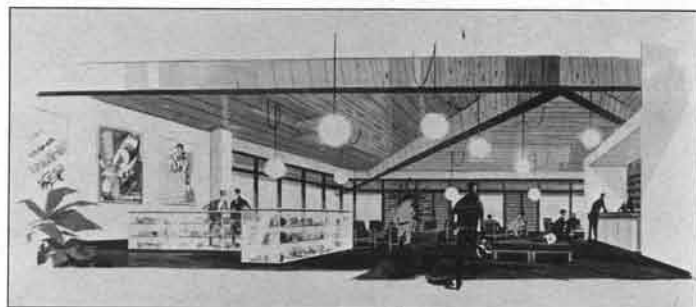


ホテル全景

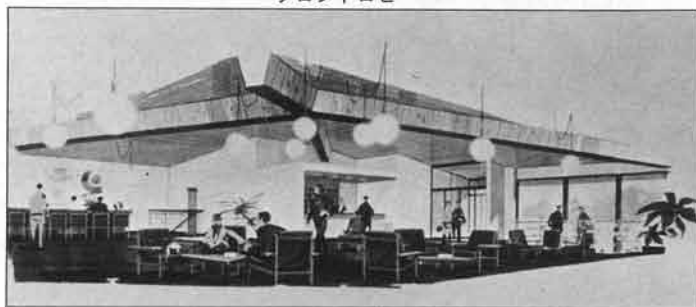
ロードレース、モトクロス、トライアル、カートの競技施設のほか、サイクリングをはじめ野外の各種のアスレチックスポーツが、緑の中で楽しめる「菅生」のベースとして、みなさまにおおいにご利用いただきたい施設にホテルがあります。

鉄筋コンクリート2階建て、2210㎡のゆとりある面積には、25部屋88人がのびのびとくつろげる客室のほか、ロッジ風のひろびろとしたロビー、しゃれたティーラウンジなど自然に調和した憩いの場所が提供されています。客室は3ベッド、4ベッドで、各室ユニットバス付のほかテラスもあり、眺望もまた良好です。ご家族そろって、あるいは親しい仲間と、「菅生」を存分にご利用ください。

オープンは5月1日。「菅生」のオープンウィークには各種の楽しいプランが計画されています。



フロントロビー



ティー・ラウンジ

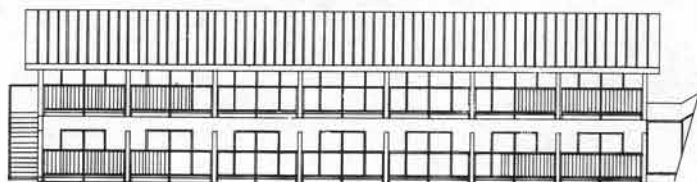


菅生

SUGOI

ヤマハ発動機株式会社

宮城県柴田郡村田町大字菅生字路石6-1
PHONE 022483-3111(代)@989-14



ホテル南一立面図

『春のヤマハまつり』

フラワーキャンペーンを追って

福山 川口 東京



ヤングのお客さんが続々と訪れる福山市「ヤマハオート藤原」さん

春のヤマハまつり
フラワーキャンペーンを追って



明るい店内にはヤマハのニューモデルがずらりと並びお客さまの感嘆の声があがる。各車種には定価も明示され見やすくレイアウトされた展示がなされている



「こんな風に地元新聞に広告を出したり、ダイレクトメールを送ったり、チラシを折りこむなどオープン前の準備はたいへんでしたがお客さんがこれだけ来てくれてほんとにうれしかったですヨ」と若い店主の藤原義弘さん

オートバイシーズンの開幕を告げる「春のヤマハまつり」は全国のフレンド店の皆さまのご協力で盛大に展開されています。

はじめにご紹介するのは広島県福山市の「ヤマハオート藤原」さん。お店のオープンをこの「春のヤマハまつり」にタイミングを合わせ店内外の装飾をキャンペーンのツールで雰囲気盛りあげました。ニューモデルのTY50やYZ125も無事到着、各タイプのヤマハオートバイがずらりと一堂に会しての展示即売会です。

……
ご主人の藤原義弘さん(26)は大のオートバイ好きでTCMS中国大会では市販車250cc級で優勝するなどますますその熱が昂じてきて、お兄さんの尾道店に次いでこんど福山市内では珍らしい二輪車専門店を開いたものです。

オープン初日の二月一日にはセニアライダーの杉尾良文、岩尾一敏の両選手が来店、ファンの求めに応じてサイン会も行なっていました。

お店は福山駅前の目抜通りを車で5分程のところ、場所柄もよく初日だけで140名が来店するという賑わいでした。尾道市で「藤原モーターズ」を経営するお兄さんの寿美さん夫妻も駆けつけていろいろお手伝いするやら商売のやり方などのアドバイスをしています。来店した人には、くじびきで特等はヤマハミニGT50、一等プジョーなどの盛りだくさんの賞品で大サービス。五等にニューメイトタバコ、当らなくとも全員に花の種をプレゼントするという具合にツールを活用していました。

はやばやと購入予約札が貼られた新発売のYZ125。他にもYZ250が2台、TY125が3台もオープン初日に売約済になった。お店は「チームバード」の事務所でもある



ご主人はモトクロスやトライアルの大会に出場するマニアでこれまで自身やチームで獲得したカップを並べて「どうぞ仲間になりませんか、と呼びかける



ファンにサインする岩尾一敏、杉尾良文両セニアライダー。両選手は全日本モトクロス大会やモトクロス教室でいくたびか福山を訪れていてすっかりおなじみである



「花の種は来店した人たち全部にプレゼントしました。アンケートをいただいたお客さまには花の咲く頃訪ねてみたいと今から楽しみにしています。」受付と抽選係のお手伝いを引受けた兄嫁の寿美子さん

春のヤマハまつり フラワーキャンペーンを追って

安全を一つの柱に“ヤマハまつり”を展開していききたい【黄金井オート埼玉】

期間中新車お買上げのすべてのお客さまに、自店のステッカーを貼ったヘルメットを進呈【黄金井オート埼玉】



こうしてお届けすることのできる事も、どこかでメンバーの影の力があると思っています【アサダモーターサイクル】



やる気にかける 「春のヤマハまつり」

埼玉県川口市の「黄金井オート埼玉」さんは、キャンペーンの重点期間を三月から五月末日までの三カ月に絞った。

ヤングに対して安全運転を説き続ける、黄金井副店社長は二代目に当る——「鑄物の町という土地柄からかけつき盛んな若者が多いんです。そのためか一時期は二輪車の運転に無謀運転が目立ちました。それからというもの私は安全をつよく口に出すようにしたんです。こうした過程から今回の「ヤマハまつり」にも、何か安全を表現したいと思い、考えついたのが「花の種+ヘルメット+プレゼント」なんです。50ccから750ccまで購入のお客さまには全てプレゼントが立てまえ、そのためには買う気させるポスターやのぼりを有効に使います。幸いに店が角地ですから、飾りつけのやりがいがあります。キャンペーンの前哨戦としては「らくらく点検」と「TY-50新発売」を打ち出しています。いずれトライアルクラブを結成するつもりですよ」

点検と人とのつき合いを大切にしたいと語る黄金井社長は、春のオートバイシーズンはヤマハのシーズン、とやる気のある所をみせていたものでした。

活躍していただく 当店のJ・S・Tクラブ員

いっぽうこちらは、20名の「ヤマハまつり専従セールスマン」を期間中に市場に送り出そう、という東京都品川区のアサダモーターサイクルさん。20名の大セールスマンとは？ 浅田善吉社長の人柄に引かれて結成された「J・S・Tクラブ」のメンバー。このメンバーが「ヤマハまつり」の話を聞いて自主的に協力を申し込んだ次第。

「二月一日から三月三十日まで、DM作戦と口コミ作戦」

電話帳からリストアップして、総計2,000枚のDMをキャンペーン中に発送。熱が入る宛名書(橋本輪業)



主力看板にする「らくらくメイト」。メイト用の「のぼり」は一番目を引く場所に出します〔橋本輪業〕



協力をおしまない、J・S・Tクラブのメンバーの人と共に。前列右から二人目が浅田社長〔アサダモーターサイクル〕

でフタを開けました。品川区の中卒者名簿を基に第一回DM作戦は、一千通のDM(ダイレクトメール)を書きあげました。ここでは、クラブ員が自分たちの卒業校に行つて、名簿を受け取ってきつてくれたり、宛名書きを手伝つてくれたり、私の手や足になつてくれました。そして口コミ作戦の方は、クラブ員がチラシを持ってオートバイ愛好者にチラシを手渡し、その時に一言か二言、来店のさそいを呼びかけてくれます。これは一つの地域に片寄らないように、地区の塗りつぶしでお互いが確認しあっています。

取材にお伺いした日も、J・S・Tのメンバーが集まり、注文車の配送や、キャンペーンツールの飾りつけにアサダモーターサイクルさんは活気に満ちていました。

売るための準備で臨む ヤマハもNSUも「メイト」

同じ東京都板橋区志村の橋本輪業さんは、シーズン開幕を前に新発売になった、らくらくづくしの新設計「ヤマハメイト」を主力看板にして今回の「ヤマハまつり」を展開するという。そのための準備は完璧と語る橋本福松社長。

「この「ヤマハまつり」に当り、事前に用意したものは私の店が持っている顧客名簿と、区内の職業別電話帳。顧客名簿からは、買い替えの見込客のリストアップをし、「らくらく点検」と「メイト展示即売」の告知DMの作成を行い完了しました。職業別電話帳からは、クリーニング屋さん、ソバ屋さん、新聞屋さんなど新規見込客に対して「メイト新発売」のDMにカタログを入れて発送しています。毎日三人がかりで書いています。まだ店の飾りつけは、二本ののぼりだけですが、これは三月一日に一挙に用意されたツールを利用して、おまつりのなムードとイメージを高めようと思つてからです。こうしたキャンペーンには、準備とアイデアが必要だと思いますネ。」

橋本輪業さんでは、取材にお伺いした日も70通のDMの宛名書きを予定しているということでした。

'75ヤマハ
レース活動

技術の研さんと モータースポーツの普及をめざして

ヤマハ発動機株式会社では二月十三日、国内報道陣を磐田グランドホテルに招き、今年度のレース活動方針を明らかにすると共に、袋井コースにおいてロードレース、モトクロス、トライアルの75ファクトリーマシンを公表しました。
またこの日、折からテストのために来日していたチャンピオン、G・アゴスチーニ選手が記者会見に出席し、デイトナ200に始まる今シーズンのレース活動に対する抱負を述べ、本橋明泰、金谷秀夫、河崎裕之、高井幾次郎、片山敬済の日本人選手と合同で、意欲あふれるデモンストレーション走行を披露しマシンの上々の仕上りぶりをみせました。



'75ヤマハレース活動の方針を述べる技術開発室畑部長。左はロードレース担当の野村課長とモトクロス、トライアル担当の鈴木課長。右はG・アゴスチーニ選手



なみいる記者団にチャンピオンとして抱負を述べるアゴスチーニ選手

みのり大きいレース活動
よりよい環境づくりにも貢献

磐田グランドホテル天平の間において行われた記者会見は、まず'75ヤマハレース活動の方針について、技術開発室畑部長のあいさつ



静岡県袋井市のヤマハコースを疾走する超一流ライダーの一群。①世界G P 350cc級チャンピオンのG・アゴスチーニ、②金谷秀夫、③河崎裕之 ⑤本橋明泰 ⑥高井幾次郎 ⑦片山敬済

から始まりました。

次いで技術開発室の西村課長よりファクトリーライダーの紹介があり、同野村、鈴木両課長から'75ファクトリーマシーンについての技術的な説明が行われました。

畑部長は「経済問題、社会問題を含めてバイクの世界をとりまくさまざまな環境について慎重な討議を重ねた結果、今年度も昨年同様に国内外ビッグイベントを主体として、レース活動をつづけることにした」と述べその基本的な考え方の要因として次の二点を強調し、理解と協力を求めました。

1 レース活動は、技術開発研究の場として欠かせないものであり、終局的には高品質の製品を提供できるというサービスにつながるものである。

2 健全で楽しいモーターサイクルスポーツを普及拡大することは、ヤマハの目的でもあり、またそのために日頃より努力してきている。日本選手権シリーズ戦、世界選手権シリーズ戦はこのモーターサイクルスポーツの最大集約されたものである。

以上のほか畑部長は「新技術開発の過程においてレースに勝つことを念願しており、昨年来からの努力の成果を'75ファクトリーマシーンとしてお目にかけます」と話を結びました。

デイトナは三月九日

国内は所沢(埼玉)からスタート

今年度の海外レース活動は、二月十五日北アイルランドで幕を開けた世界選手権トライ



ヨーロッパ向けにニュースを送るムービー取材陣は、YZR750にしばしカメラをまわしていた



ロードレーサーに、モトクロスに、トライアラーに、取材陣もおおわらの撮影



手前からYZR750、YZR500、YZR350の強力マシーン。3台合計1.6ℓのパワーは250馬力を越える。まさに圧巻!

アルから始まりました。ロードレースの第一戦は三月三日から九日にかけて行われるデイトナスピードウィークに始まり、四年連続優勝をかけて出場する九日の「デイトナ200」が注目のメインイベントです。そして世界GP戦へとつづきます。モトクロスは四月六日の250世界GPスペイン戦がスタートです。

いっぽう国内は、三月八、九日に埼玉県所沢市で行われる全日本選手権モトクロス、三月十五、十六日に筑波サーキットで行われる全日本選手権ロードレースがヤマハファクトリーの初登場です（これら国内外のビッグイベントの日程は後半グラビアページに一括掲載されていますので、お店のモータースポーツ情報の一つとしてご活用ください）。

そして、レース参加およびマシンの研究開発を主体とするファクトリーメンバーは左頁のように発表されました。このほか、普及活動メンバーとしては、左記の一流ライダーが選ばれ、みなさまの活動を側面から応援することになっています。

★ロードレース部門（国内）

浅見貞男 大脇俊夫 糟野雅治

毛利良一

★モトクロス部門（国内）

鈴木忠男 岩尾一敏 木下信安

石井正美

★トライアル部門（国内）

大月信和 木村治男 近藤博志

畑山和裕

なお、期待の'75ファクトリーマシーンについてはカラーページに収録してあります。

レースに参加、技術開発につとめる '75ヤマハファクトリーライダー

注：海外レース参加は第一次参加選手のみについて記した。スケジュールは一部未定。

モトクロス



ハッカ・アンダーソン (29)

スウェーデン人。ヤマハに加わったのは72年で、この年に世界GP 250ランキング2位となり、翌73年にチャンピオンとなった。昨年は負傷でふるわなかったが今年の活躍は期待大である。



エイク・ヨンソン (30)

スウェーデン人。世界GP 500部門を受持つ。71年には同クラスランキング2位の成績をあげ、ヤマハに加わった74年には4位、昨年は7位を得た。調子の波にのれば連戦連勝も期待できる実力派。



シャーク・バン・ベルソーヘン (23)

ベルギー人。73年にヤマハに加入。A・ヨンソンとペアで500をねらうが、世界GPランキングは3位、5位と好調。今年こそは待望のチャンピオンの座を獲得してもらいたいものである。



鈴木 秀明 (26)

69年にジュニア部門で最優秀選手となり、ヨーロッパを転戦。セニア昇格の72年、73年ランキング2位に甘んじたが、74年125、250両クラスを制覇。MFJ派遣最優秀選手として世界GP 250に挑戦。



鈴木都良夫 (23)

鈴木秀明の実弟。72年、73年の最優秀選手。73年のFIM125ではランキング2位を得ており、昨年はフィンランドGPの250で3位入賞と、日本人選手として最高の成績を残している。期待は大である。



杉尾 良文 (23)

アメリカのTRANSAMAモトクロスシリーズ戦に中途から出場。500ccクラス3位入賞など好成績をあげてランキング7位を得ている実力派。日本GPで4位、2位の成績で総合優勝を果し、大きく成長した。



瀬尾 勝彦 (21)

71年にエキスパートジュニア250、350両クラスチャンピオンとなつて最優秀選手となり、その翌年ヨーロッパに渡つて腕を磨いた。このときFIM125で2度の優勝を果している。昨年の成績は総合8位。



唐沢栄三郎 (21)

72年ジュニアに昇格して90、125、250と3クラスを制覇するトリプル・クラウンをなしとげ、一躍トップスターの仲間入りをした。セニアとなった昨年度の成績は総合12位。これから成長が楽しみ。

ロードレース



ジャコモ・アゴスティーニ (32)

イタリアの生んだ世界的な名手。昨年ヤマハと契約を結びデイトナ200でヤマハに3年連続優勝をもたらした。74世界GP 350ccチャンピオン。世界GP 350、同500、F750レースに出走。もちろんデイトナにも出走する。



本橋 明泰 (35)

現役最古参のベテラン。昨年の日本GPで圧勝したことは記憶に新しいところ。マン島TTからシंगाポールGP、マレーシアGP、ブラジル・インテルラゴスなど、世界の各地を歴戦し、優勝経験も豊富。



金谷 秀夫 (30)

昨年はデイトナ200での負傷があつて腕をこまねいていたが、その苦い経験を役だてての活躍がみえた。世界GPの優勝経験もあり、技術は一流。世界GP 350、同500、F750ccレースに出走する。



ミック・アンドリュウス (30)

トライアルの超一流ライダーとして世界にその名を知られている。昨年ヤマハでSSDTに通算4度目の優勝を飾った。

★海外支店関連メンバー★

ロードレース

- K. ロバーツ、D. カストロ
- G. ロメロ、S. ベーカー
- K. アンダーソン、P. ボンズ
- B. ニューブラー、D. ブラウン
- J. ドッズ、C. モーティマ

モトクロス

- T. ハート、J. ワイナート
- B. マックドーガル、B. マックリン
- リン、H. ヨローネン



河崎 裕之 (29)

昨年度の成績は全日本選手権に4回優勝。鈴鹿のラップレコードをぬりかえ、シंगाポール、マカオの両GPも制覇するなどめざましい。今年にはフルサイズのYZR125を駆ってデイトナ200に挑戦する。



高井幾次郎 (27)

レース歴10年の持主。昨年はセニア750ccクラスに4連続優勝を果すと共に、鈴鹿700マイルに総合優勝を飾り、みごと、最優秀選手に輝いた。これによりMFJ派遣選手として世界GP 250に挑戦する。



片山 敬清 (23)

71年はノービス、72年はジュニア、73年はエキスパートジュニアと腕をあげて、昨年は世界GPの後半戦に出場。スウェーデンGPで優勝を果すなど250チャンピオンを目指す活躍で人気をさらった。

トライアル・チャンピオンシップ・シリーズ第1戦

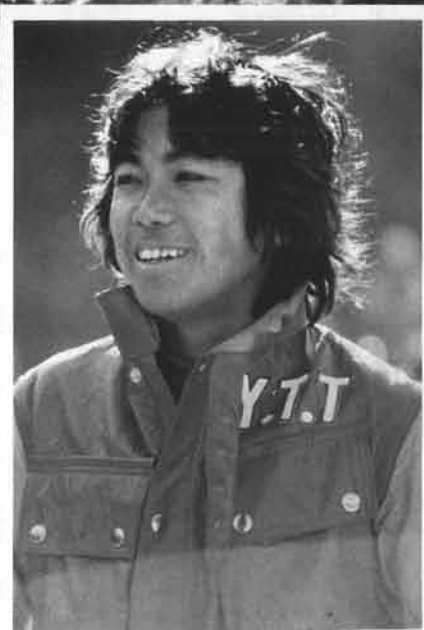
近藤博志、再び
新登場TY125で
早戸川を制す
大月信和は
HURRY

マシン・コントロールの妙技をみせる近藤博志選手

MFJの全日本選手権トライアルは、今年度から「トライアル・チャンピオンシップ・シリーズ」となって、モトクロスやロードレースと同様にシリーズ戦のポイントでチャンピオンシップを競うものとなった。

この第一戦の会場となった早戸川は、昨年の全日本選手権大会が行われたところで、い

一月十九日、快晴のもとに神奈川県早戸川で行われたMFJトライアル競技シリーズの第一戦で、TY125に乗るチャンピオン近藤博志選手がBP（ベストパフォーマンス）を獲得、RU（ランナーアップ）には新登場のTY125で出場した大月信和選手が一点差で賞についた。本格派トライアル・マシンの評価をあらためて示したこの大会の成績は、販売店のみなさまにとっても格別なニュースとなるものである。



喜びの近藤博志選手



TY125でランナーアップとなった大月信和選手。会場では新登場の「ヤマハトライアルTY125」に大きな関心がよせられていた。



わば日本のトライアルのメッカともいわれているところ。丹沢山系に源をもつ早戸川の流域は、水場、沢、ロック(岩)、マテイ(泥ねい地)、林間、バンクと、セクションの候補地に困ることはない。

ここに20セクション・ワンラップのコースが設定され、新しく生れた最上級のエキスパートクラス四十一名をはじめ、ジュニアクラス五十一名、ノービスクラス六十八名の選手が本年度第一戦の技を競った。

セクションはスコティッシュまがいのマガイ沢をはじめ、悪魔の階段、洗濯板など、早戸川ではおなじみの場所が選ばれたが、日中も日かげは氷点下という気温のために、まるで勝手が違う選手泣かせの状況もいくつかつくりだされた。

たとえば日かげの水場付近では、前車がはねあげた水のしぶきが、タイヤから落ちる水と共に岩の上で氷りつき、これがセクション下見のライダーの足をすべらすほどで、スローで、あるいは加速をつけて挑戦するトライアラをことごとくはねつけてライダーを泣かせた。

こうした中で、チャンピオン・エキスパートクラスの近藤博志選手は減点24、クリーン12で優勝(BP)、二位には「TY125」で抜群のテクニクをみせた大月信和選手が減点25、クリーン9であった。

また観戦にかけたギャララーも、昨年の全日本選手権大会よりもさらに増えて、トライアル競技が若い人の間で着実に定着していることをみせた。

このシリーズ戦は全国8戦が組まれているが、人気が増すにつれ、「TY50」でセクションを追う観客も増えてくると思われる。

なお、シリーズ戦で与えられるポイント是一位15点、二位12点、三位10点で、以下十位1点で、モトクロスおよびロードレースの全日本選手権と同様システムである。

根を下した日本のトライアル

TYシリーズで急ピッチの普及

ミック・アンドリュウスおおいに語る

「トライアルの魔術師」といわれ、ヨーロッパはもとより、アメリカで、ニュージーランドで、オーストラリアで、トライアルの普及に力を注いでいるミック・アンドリュウス選手は、日本でもすでにおなじみのトライアラードであり、二年前に来日した折にひらかれた「ミック・アンドリュウスのヤマハトライアル教室」は、関東、関西、九州、東北の各地で数多くのトライアラードを育てています。

そしてこの一月、再び来日したミック氏は75ヤマハワークスのトライアルマシンをテストするかたわら、五月一日オープンした「菅生」を訪れ、セクションの設定にたずさわらう。一月十九日には神奈川県・早戸川のトライアル会場に足を運び、「MFJトライアルチャンピオンシップシリーズ第一戦」をつぶさに観戦。競技会を終了してからわずかな時間を利用して自からもトライアル・ライディングのトレーニングを披露してみせたものでした。これは多忙をきわめたミック氏を追って本誌記者が試みたインタビュー記です。

目覚ましい技術の向上ぶり

「二年前に私が初めてトライアル・ライディングの基本を紹介した当時は、まだ日本にはトライアル用の本格的なマシンはなく、ライダーは他のモデル、たとえばヤマハトリールDT250などを改造した即製トライアル車を使用していたものだった。

その頃とくらべると、現在の日本トライアルの普及ぶりは素晴らしい。

日本のメーカーが開発して市場に送り込んだ本格的なトライアルモデルが、日本のトライアル熱に拍車をかけたことは確かだ。この競技は完全に日本に根を下したという印象をつよくうける。この点で、日本に初めてトライアルを紹介した私としても大いに満足している。あとは、このトライアル熱をいかにリ

ードし、底辺を拡大していくかが課題となるのだが、ヤマハならば安心していられる。

早戸川は変化に富んだユニークなセクションであった。とくにロック・セクションは困難をきわめていたようだが、やがてクリーンするライダーも現われてこよう。よいマシンが手に入れば、当然ライディングの技術も進歩するものだからだ。全般的なレベルアップとともに、とくに将来が楽しめそうなライダーも何人か目についた。

きょうの早戸川で最高の成績をあげたヤマハの近藤博志選手はその一人で、お世辞ぬきにして一〇〇%の上達ぶりだった。

トライアル場にも最適の「菅生」

「ヤマハのTYシリーズは、日本の代表的な市販トライアルモデルになったし、ヤマハの

トライアル普及にかける努力のあらわれとして、私は「菅生」をあげたい。

今年の来日で、初めて「菅生」のトライアルコースを一巡してみたが、申し分のないコースといえる。私が欲しいと思っていたセクション条件をすべて備えているし、豊富な地形特色を生かしてコースレイアウトを自由に変えられるので、エキスパートもノービスも自由に、安全に自分の技術に合ったトライアルライディングを満喫できるわけだ。

加えてロードレース、モトクロス、カートレースなども実施できる「菅生」は、世界に類のない総合モータースポーツゾーンだが、日本だけでなく、世界の健全なモーターサイクルスポーツのセンター的な存在になって欲しいと思っている。

優秀な成績でチャンピオン目指す

「ことし、トライアル部門に初めて世界選手権制度が採用され、カナダを加えて十四ラウンドになった。初のワールドタイトルをねらってベストをつくすつもりだ。

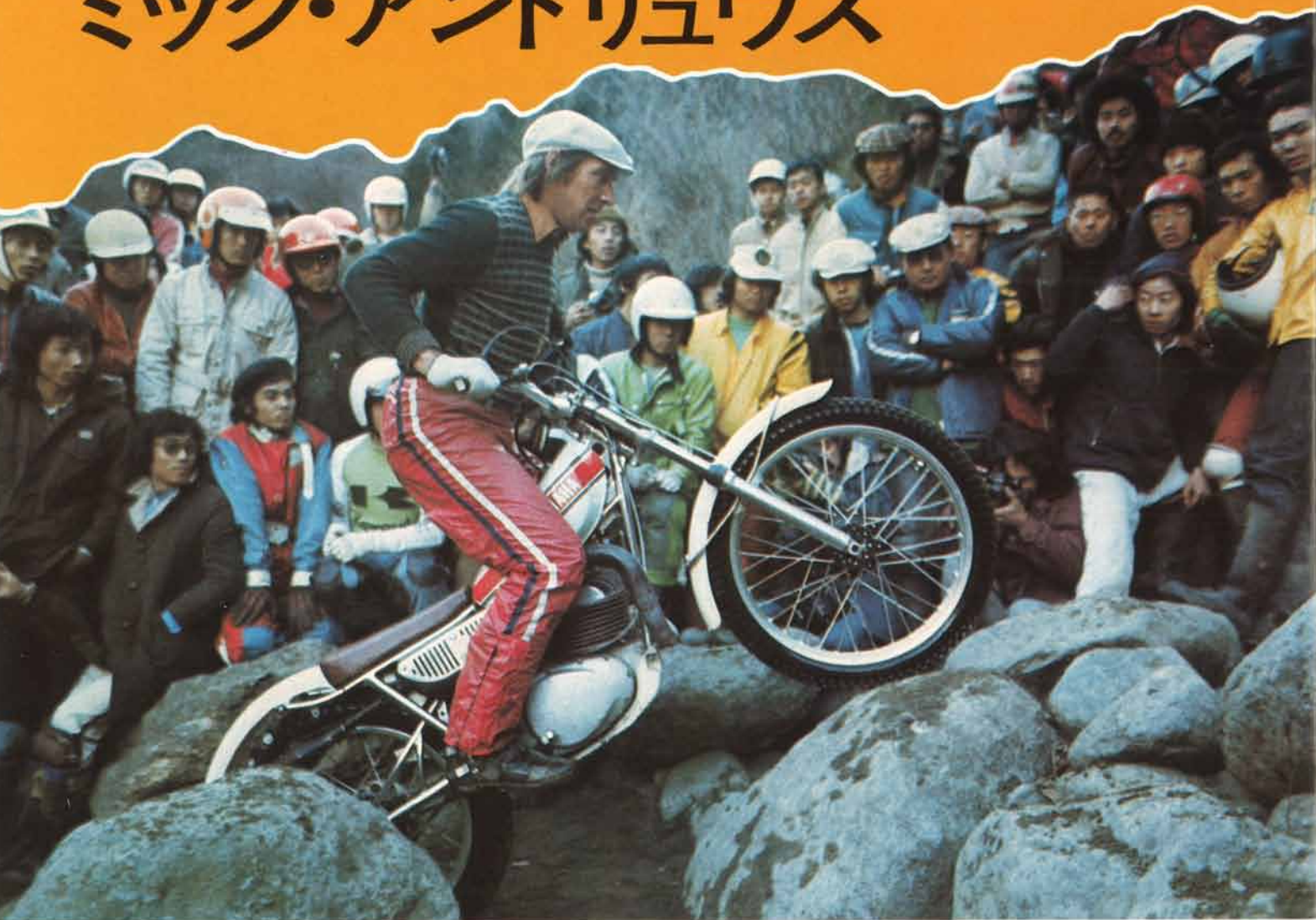
昨年のチャンピオン、M・ラスメルはご承知のようにアルタコからモンテサにスイッチした。ランキング二位だったスウェーデンのU・カールソンもモンテサに乗るので、今年のこのチームは最強力になった。またアルタコチームのランペン兄弟も私にとって手強いライバルになるだろう。マシンもそれぞれ機能を向上しているという。

しかし、私のヤマハも、トータルパフォーマンスでこれらスペイン製のマシンに優るとも劣らない。優秀な成績をもって、みなさまの期待に応えたい。そして一日も早く日本の仲間と共に、技を競い、トライアルを楽しみたい。」



1月19日はたまたま愛妻シルさんの誕生日。関係者が準備したディナーパーティに出席したミックは昼間の早戸川の疲れもみせず、日本で迎えたベターハーフの誕生日を祝った

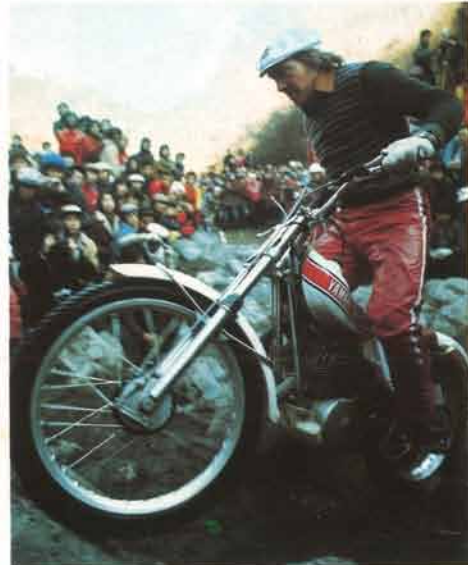
妙技をふるう ミック・アンドリュース



早戸川の難関、スコティッシュまがいの通称「まがい沢」に入るロックセクションをクリーンするミック。



こちらは「悪魔の階段」。大月信和選手の乗車したTY125を用いてみごとなテクニックを発揮、なみいるギャラリーをうならせたミック。



フワッと前輪をもちあげ、行手をさえぎるロックをなめるように次々と乗越えて歓声を湧かせた。



ヤマハトライアル TY125



ヤマハトライアル TY250



項目	TY125	TY250	項目	TY125	TY250
全長	1960mm	1980mm	点火プラグ型式	B-7ES (NGK)	B-7ES (NGK)
全巾	820mm	840mm	キャブレター型式	VM22SS (三国)	VM26SS (三国)
全高	1120mm	1125mm	湿式モルトプレーン	湿式モルトプレーン	湿式モルトプレーン
シート高	750mm	760mm	ギヤ (3.894=74/19)	ギヤ (3.894=74/19)	ギヤ (3.400=68/20)
軸間距離	1260mm	1290mm	チェーン (3.214=45/14)	チェーン (3.214=45/14)	チェーン (3.533=53/15)
最低地上高	290mm	250mm (サイドスタンド先端部)	湿式多板	湿式多板	湿式多板
乾燥重量	88kg	97kg	6段リターン式	6段リターン式	5段リターン式
舗装平坦路燃費	40km/ℓ (50km/h)	40km/ℓ (50km/h)	3.090=34/11	3.090=34/11	2.714=38/14
最小回転半径	1500mm	1500mm	2.461=32/13	2.461=32/13	2.058=35/17
制動停止距離	7m (35km/h)	15m (50km/h)	1.875=30/16	1.875=30/16	1.523=32/21
エンジン	2st. トルクインダクション	2st. トルクインダクション	1.421=27/19	1.421=27/19	1.038=27/26
気筒数・排気量	単気筒・123cc	単気筒・246cc	1.000=23/23	1.000=23/23	0.656=21/32
内径×行程	56×50mm	70×64mm	0.769=20/26	0.769=20/26	—
圧縮比	7.1:1	6.0:1	高強度鋼管ダブルクレードル	高強度鋼管ダブルクレードル	高強度鋼管ダイヤモンド
最高出力	7.6PS/6500rpm	16.5PS/6000rpm	62"30'	62"30'	64"
最大トルク	0.84kg-m/6000rpm	2.1kg-m/5500rpm	93mm	93mm	86mm
始動方式	プライマリキック	プライマリキック	2.75-21-4PR	2.75-21-4PR	2.75-21-4PR
点火方式	マグネター	マグネター	4.00-18-4PR	4.00-18-4PR	4.00-18-4PR
燃料タンク容量	4ℓ	5ℓ	ブレーキ (前後)	ブレーキ (前後)	ブレーキ (前後)
オイルタンク容量	0.3ℓ	0.4ℓ	懸架緩衝装置 (前)	懸架緩衝装置 (前)	懸架緩衝装置 (前)
潤滑方式	分離給油 (ヤマハオートループ)	分離給油 (ヤマハオートループ)	懸架緩衝装置 (後)	懸架緩衝装置 (後)	懸架緩衝装置 (後)
バッテリー容量	6V4AH	6V4AH	ヘッドランプ	ヘッドランプ	ヘッドランプ
バッテリー型式	6N4B-2A	6N4B-2A	テール/ストップランプ	テール/ストップランプ	テール/ストップランプ
発電機種類	フライホイールマグネター	フライホイールマグネター	フラッシュランプ	フラッシュランプ	フラッシュランプ
発電機型式	F145 (日立)	F145-54 (日立)	パイロットランプ	パイロットランプ	パイロットランプ

新発売

ファン倍増のTY125 TY250はさらに内容を向上

お待たせいたしました——。いよいよ『ヤマハトライアルTY125』の登場です。

本車は、いま急速に人気を高め、競技人口も増加の一途にあるトライアル界のリード商品としてデビューしたものであり、性能面はもとより、免許関係(限定二輪でOK)、価格面からも最も売やすい本格派トライアルマシンです。

また同時に、すでに数々の競技ですぐれた性能を実証、高い評価を得ている「TY250J」を改良、『ヤマハトライアルTY250』として新発売となりました。

これで“ヤマハトライアルシリーズ”は先に発売された「TY50」を含めて3車種が揃ったわけです。「TY50」はトライアルランが楽しめる新しいバイクとして、また「TY125」「TY250」は、トライアル競技の入門から真ずいをきわめる本格派マシンとして新しいお客さまをつくりませんが、もとより一般の乗用にも楽しめるものです。

どうぞ、ご拡売のほどよろしく願い申し上げます。

ヤマハトライアルTY125

●初心者にも、ベテランにも

トライアルを本格的に楽しみたい人にとってつけのモデルがこの「TY125」。重量も88kgと軽く、シート高も750mmと低く、取扱いやすさ、なじみやすさは抜群です。しかもその内容はウデ次第、本格派マシンの名に恥じぬ高度な性能がひきだせます。

●トルクインダクション+6段変速

エンジンは強大なトルクを幅広い回転域で保つ7ポート・トルクインダクションの2サイクルで、これにセクション・トライ用としてクロスレシオの1速～4速、コースおよび一般走行用としてワイ



ドレシオの5速、6速の6段ミッションを組合せ、アイドル走行からアクセル全開まで、レスポンスのよいパワーコントロールを可能としています。

●アルミプレスプロテクター

フレームは軽く強靱な高張力鋼管製のダブルクレードル型で、クランクケースの保護には290mmのロードクリアランスのほか、丈夫なアルミプレスのプロテクターがエンジン下部を巾広く覆っています。さらにリヤ・クッションは5段調節式として、さまざまな地形の走破に備えさせました。

●充実した防水対策を採用

水辺や沢、泥ねい地など、水にふれる走行に対して、点火プラグキャップ、キャブレター、エアクリーナーケース、ブレーキ等を防水式として、万全を期しています。

●トライアル装備プラス一般走行装備

燃料タンク、シート巾を中心に前後に、そしてフットレストにかけてスリムにま

とめられた車体構成は、適切な形状のハンドルバーと共に自在なライディングポジションの変化を許し、トライアルの真ずい即ちバランスの妙味を満喫させ、マシンをコントロールするダイゴ味を無限のものとしします。



泥にまみれ、水に洗われるドライブチェーンを守るチェーンオイルラー(左スイングアームがオイルタンク)、パワー伝達のスムーズさを保つチェーンテンショナー、万一たおれても燃料の流出がないブリーザー付燃料タンクキャップなど、トライアル車としての装備はもとより、キル・スイッチ、大型フラッシャーなど一般走行用の充実した安全装備をもち、排気音も静粛におさえてあります。

ヤマハトライアルTY250

●さらに高度化されたトライアル性能

性能面でもっとも大きな変化は、フライホイールマスを大型化して低速性能の向上を一段と強化していることです。またこれにともないキャブレターを変更、セクション・トライと一般走行の差をワンタッチで切替えられるエヤスクリュ



方式(左下写真矢印)を採用しています。これは エヤスクリュを左にロックまで回せば最適の調整となり、一般走行



では 右にロックするまで戻す方式です。またエンジン巾は従来よりもさらに31.5mmせばめ、チェーンペダルおよびブレーキペダルも折りたたみ式とするなど、

よりいっそうスリムな構成として、シビアなセクションのトライに対処させました。

エンジンプロテクターはアルミプレス製とし、ブレーキライニングはドラムが水中に没してもなお効果の高いものとしたほか、フロントフォークは内側にスタビライザーを設けて剛性を増し、ハンドルグリップもパターンと径を細目に変えて、さらになじみやすいものとしています。

そのほか燃料タンクをアルミ製とし、またクランクケースカバーはマグネシウム製として重量軽減を図りました。エアクリーナーケースもさらに防水性のすぐれたものにしたほかサイレンサーも改良、排気音の低下を果しています。

YZ125



開幕を告げて登場
モトクロスサー『ヤマハ
みなさま期待の“ヤ
マハサスペンション”
がデビューです。
の採用により、フレ
ックスフォークの設
計にタイヤサイズを従
来大型化し、トータル
にすぐれた操縦性
を実現するものとした。
高い信頼性と整備
性の2サイクルユニ
ット性のよいカムタイ
プです。

ラジアル・フィンの YZ250



モトクロスサーとして洗練されたスタイルも大きな魅力の『ヤマハYZ250』

あるものへと発展しました。

またシート高は20mm低下させ、アルミ製の燃料タンクはスリムな横巾をそのままに8ℓに容量を増大、ロングランに対処させると同時に乗りやすさ、扱いやすさ(タンク支持)を向上させました。サイレンサー改良による消音効果の向上のほか、アルミE型リムなど従来の数々の特長はそのまま受継いでます。

市販モトクロスサーとしてピカ
ーの存在にある『ヤマハYZ250』
の'75モデルは、総合性能の強化、
向上を図っての登場です。

技術面でもっとも目をひくエン
ジンは、クランクまわりをはじめ
クラッチ、ミッションなど、すべ
てを一新したほか、大口径キャブ
レターおよびラジアル型シリンダ
ーヘッドフィンの採用で冷却効率
をアップ、従来にも増して耐久力

モノクロスサスペンション セールスポイント



も、その構成上フレームの強度も増し、左
右のリアアームを上下で一体連結できる
ことから剛性もこのうえなく高く保つこと
ができる。加えてクッションユニットがセン
ター配置の1本であり、コーナリング時な
ど、リアアーム左右にかかるアンバランス
な荷重も是正されて、格段にすぐれた走行
性が得られる。このような特長から「ヤマ
ハモノクロスサスペンション」はロードレ
ーサー、トライアルのワークスマシーンに
も採用されている。

YZ125

全長	2055mm
全巾	985mm
全高	1115mm
シート高	845mm
軸間距離	1370mm
最低地上高	260mm
乾燥重量	83.5kg
エンジン	2st. トルクインダクション
気筒数・排気量	単気筒・123cc
内径×行程	56×50mm
圧縮比	7.5:1
最高出力	23ps/10500rpm
最大トルク	1.61kg-m/9500rpm
始動方式	プライマリーキック
点火方式	CDI
燃料タンク容量	5ℓ
潤滑方式	混合式(20:1)
発電機	自動進角装置付内転式マグネト
点火プラグ型式	B-9EV(NGK)
キャブレター型式	VM30SS(三国)
エアクリーナー	湿式モルトブレン
一次減速(比)	ギヤ(3.894=74/19)
二次減速(比)	チェーン(3.214=45/14)
クラッチ型式	湿式多板
変速機	6段リターン式
変速比1速	2.538=33/13
変速比2速	1.933=29/15
変速比3速	1.555=28/18
変速比4速	1.300=26/20
変速比5速	1.142=24/21
変速比6速	1.045=23/22
フレーム型式	高張力鋼管ダブルクレードル
キャスト	58° 30'
トレール	140mm
タイヤ寸法(前)	3.00-21-4PR
タイヤ寸法(後)	4.10-18-4PR
ブレーキ(前後)	機械式ドラム
懸架緩衝方式(前)	テレスコピックオレオ
懸架緩衝方式(後)	ヤマハモノクロス式

YZ250

全長	2110mm
全巾	985mm
全高	1165mm
シート高	840mm
軸間距離	1420mm
最低地上高	235mm
乾燥重量	99kg
エンジン	2st. トルクインダクション
気筒数・排気量	単気筒・246cc
内径×行程	70×64mm
圧縮比	7.69:1
最高出力	32.5ps/7500rpm
最大トルク	3.11kg-m/7000rpm
始動方式	プライマリーキック
点火方式	CDI
燃料タンク容量	8ℓ
潤滑方式	混合式(20:1)
発電機	自動進角装置付内転式マグネト
点火プラグ型式	B-8EV(NGK)
キャブレター型式	VM38SS(三国)
エアクリーナー	湿式モルトブレン
一次減速(比)	ギヤ(2.703=73/27)
二次減速(比)	チェーン(3.840=50/13)
クラッチ型式	湿式多板
変速機	5段リターン式
変速比1速	1.833=33/18
変速比2速	1.409=31/22
変速比3速	1.166=28/24
変速比4速	1.000=26/26
変速比5速	0.857=24/28
変速比6速	—
フレーム型式	高張力鋼管ダブルクレードル
キャスト	59°
トレール	139mm
タイヤ寸法(前)	3.00-21-4PR
タイヤ寸法(後)	4.60-18-4PR
ブレーキ(前後)	機械式ドラム
懸架緩衝方式(前)	テレスコピックオレオ
懸架緩衝方式(後)	ヤマハモノクロス式

一新! ヤマハスポーツ RD50

“春のヤマハまつり”をリードする主力商品のひとつはバラエティゆたかな50cc車部門ですが、このたび『ヤマハスポーツRD50』がご覧のようにグラフィックを一新して発売の運びとなりました。スピーディなスタイルがさらに磨きあげられたデザイン処理です。カラーは従来どおり、シルバーダストとアイビーグリーンの2色で、トルクインダクションのエンジン、リターン式5速のミッション、ダブルクレードのフレーム、そしてこのクラスとしては唯一のオイル・ディスクブレーキ等の仕様、特長は変わりありません。



シルバーダスト

新発売



アイビーグリーン

モノ・サスがついたYZ

新発売



75シーズンの市販モデル「YZ125」は、ヤマハ・モノクロスに装備してのこの新装置のフレームおよびフレーム計も一新、また来モデルよりナバランスでさ安定性を確保

「モノ・サス」装備で戦闘力を一段と増した「ヤマハYZ125」。燃料タンクはアルミ製。

また吸入効果にすぐれ、広い回転域で強大なトルクを保ち、性のよさとで定評を得ている7ポート・トルクインダクションユニットは、大型キャブの採用のほか、6速ミッションと軽く操作プレパラーのクラッチの採用により、また一段と戦闘力を増して

「ヤマハ・モノクロスサスペンション」は高圧ガス+オイル+コイルスプリング+ゴムの4段構えの緩衝材をひとつにユニットし、これを上部フレームのセンターに配置して上下動するリヤホイールのショックを前後動にうけてストロークするもの。車体のレイアウト上にも無理がなく、大型クッションユニットの採用が可能で、クッションストロークも長くとれる。これによりソフトなクッション特性が得られ、後輪の接地性もよく、抜群の乗車性が発揮される。しか



ヤマハワークスマシーン発表!!



YZR500

主にエンジンのセッティングを重点において性能アップを図ったYZR500は、スピード、耐久性ともに抜群の信頼性が確認されてチャンピオンの座に挑む。後輪支持はもちろんヤマハ・モノクロスサスペンション方式である。

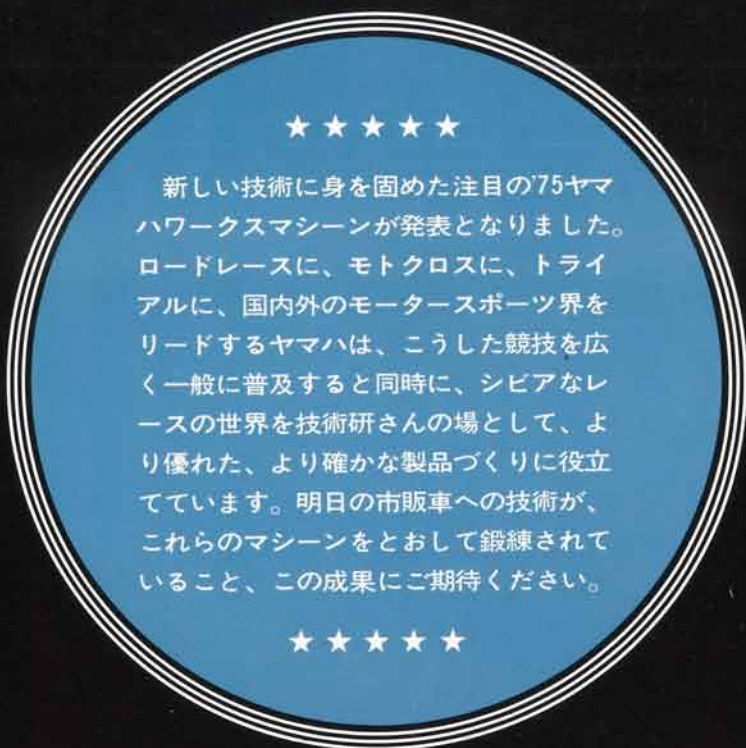
エンジン水冷4気筒7ポートトルクインタクション2サイクル 内径×行程54×54mm 総排気量494cc 最高出力90PS以上 10,000rpm 変速機6速 車重125kg以下 性能時速250km以上 燃料タンク28ℓ タイヤ3.25-18 3.50-5.25-18



YZR350

新たに前後輪ブレーキをオイル・ディスクとして制動能力を高めたYZR350、3年連続チャンピオンを目指しての、このマシンの大きな特長の一つは後輪支持にヤマハ・モノクロスサスペンションを採用していることで、これは'75ワークスマシンの共通した特長である。

エンジン水冷4気筒2サイクル 内径×行程64×54mm 総排気量347cc 最高出力60PS以上 10,000rpm 点火方式CD-1 潤滑方式混合(15:1) 変速機6速 車重125kg以下 性能時速230km以上 燃料タンク23ℓ タイヤ3.00-18 3.50-18



★★★★★

新しい技術に身を固めた注目の'75ヤマハワークスマシーンが発表となりました。ロードレースに、モトクロスに、トライアルに、国内外のモータースポーツ界をリードするヤマハは、こうした競技を広く一般に普及すると同時に、シビアなレースの世界を技術研さんの場として、より優れた、より確かな製品づくりに役立っています。明日の市販車への技術が、これらのマシンをとおして鍛練されていること、この成果にご期待ください。

★★★★★



YZR750

排気量を694ccから748ccに拡大、一段と力強さを増したパワーユニットに対し、後輪支持にヤマハモノクロスサスペンションを採用、操縦性・安定性ともに飛躍的な向上を果たした。エキスパンションチャンバーは1アップ3ダウンで、性能向上を果たすと同時にバンク角を稼ぎだしている。

エンジン水冷4気筒7ポートトルクインタクション2サイクル 内径×行程66.4×54mm 総排気量748cc 最高出力100PS以上 10,000rpm 変速機6速 車重170kg以下 性能時速200km以上 燃料タンク容量24ℓ タイヤ3.25-18 3.50-5.25-18

世界の専門家の目をうばう '75



YZM125

今年度から世界選手権に昇格した125cc級。そのトップレベルをめざしたYZM125は、パワーレンジをさらに広げ、前後サスペンションの改良によって接地性および操縦性を一段と高めた。

エンジン 空冷単気筒 7ポートトルクインダクション 2サイクル 内径×行程56×50mm 排気量123cc 最高出力22馬力以上 10,500rpm 変速機6速 燃料タンク容量6.5ℓ タイヤ3.00-21 4.10-18



YZM400

前後のサスペンションを改良、接地性および操縦性を向上させたほか、フレーム構成をモノクロスサスペンション用に開発したセミモノコック式とし、よりいっそうの耐久性を高めると共に、剛性を増した。新設計ラジアルフィンエンジンはパワーレンジの拡大を果している。

エンジン 空冷単気筒 7ポートトルクインダクション 2サイクル 内径×行程82×75mm 排気量396cc 最高出力40P.S以上 6500rpm 変速機5速 燃料8ℓ タイヤ3.00-21 5.00-18



YZT250

上下、左右のマシンの傾斜に影響されることなく、また低開度から高開度まで理想的なエンジン適合性をもって燃料を供給する新開発のヤマハ製燃料噴射装置を採用、後輪支持にヤマハ・モノクロスサスペンションを装備してさらに操縦性、安定性を高めての登場である。

エンジン 空冷単気筒 7ポートトルクインダクション 2サイクル 内径×行程70×64mm 排気量246cc 最高出力17P.S以上 6500rpm 変速機5速 燃料タンク容量4.5ℓ タイヤ2.75-21 4.00-18



YZM250

前後サスペンションとフレームの性能アップが果されての登場。モノクロスサスペンションの要の一つとなるフレームは新開発のセミモノコック式でシリンダーヘッドをラジアルフィンとして冷却効果を高め、パワーレンジを広げた新設計エンジンをのせている。

エンジン 空冷単気筒 7ポートトルクインダクション 2サイクル 内径×行程70×64mm 排気量246cc 最高出力32P.S以上 7000rpm 変速機5速 燃料タンク容量8ℓ タイヤ3.00-21 4.60-18

新発売

YAMAHA RED ARROW

RC-100M-II

初心者から上級者まで、巾広くカーターの支持をみつめている「ヤマハレッドアローRC-100M」は、各地で開催されている競技会で活躍し、カートレースを新しいモータースポーツとして定着させる

に十分な役目を果たしています。

'75年、モータースポーツシーズン開幕を前にこの「レッドアロー」が、カーターの安全を重視するとともに、操縦性能を高めて登場しました。レースに即応できる「ニュー・ヤマハレッドアローRC-100M-II」を、ぜひお店の商品群のなかにお加えください。



■サイドバンパーをエンジンと反対側にも設けました。これは白熱したレースの展開でも、カートの安全を保ち、タイヤの乗り上げを防ぎ、カーターの保護を大きく高めるものです。
■ハイバックシートを採用しました。これによってカーターのサポートは一段と向上し、また、シートウェスト部分の絞りを小さくすることで、着座や離脱をさらに容易にしました。
■キャブレターは新設計のフロートレス方式を採用しました。これは振動による油面の変化や混合比の変化を無くし、走行中は終始安定した混合気を供給します。また遠心クラッチの耐久性の向上など、細部に渡る多くの改良は、多くのカーターを満足させるものです。

主要諸元

全長	1,735mm
全巾	1,065mm
ハンドル中心高	470mm
ホイールベース	1,040mm
トレッド(前)	787mm
トレッド(後)	943mm
重量(エンジン共)	57kg
操向装置	直結ダブルステム式
トーイン	1°
キャスター	16°
キャンバー	-3°
キングピン角	13°
キングピンオフセット	70mm

トレール	30.5mm
タイヤ(前)	グッドイヤー3.50-5
タイヤ(後)	グッドイヤー4.50-5
ブレーキ	(リヤのみ)油圧ディスク
フレーム部材	HT55高張力鋼管
フロアプレート	FRP製
燃料タンク	4.5ℓ (FRP製)
キャブレター	京浜WALBRO WB-3
エンジン	MT100DK (自然空冷)
点火方式	CDIマグネトー
動力伝達	チェーン直結 (標本RS35)
減速比	70/10 (7,000)
クラッチ	ヤマハ遠心クラッチ



カートの現状

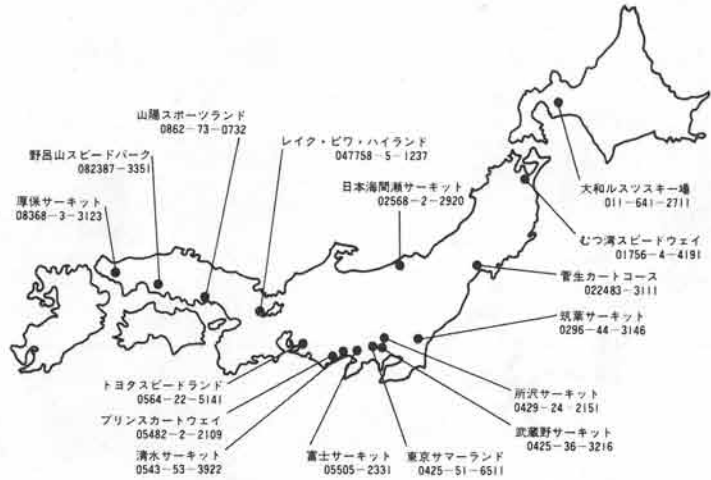
国内におけるカート全般の統轄は日本自動車連盟（JAF）が行なっており、これは他のモータースポーツと同様に健全な普及を考へてのもので、ヤマハもカート普及の指導的な立場に立ち、カートの育成からレースの開催まで、その普及発展に努力しています。

現在ヤマハではSLカート教室として、「ライセンス講習会」「実戦教室」を各地で開催、「SLカートクラブ」を結成しています。

まずライセンスを

カート競技を安全で楽しいものとするために、カーターのルールとマナーを高める目的で、JAFではライセンス制度を設けております。ヤマハでは「SLカートライセンス講習会」としてJAF公認のライセンス講習会を開き、受講修了者にはJAF公認カーター

地上高4cmのコーナーリング



としてのライセンスの発給を行っております。こうした公認講習会は、今年度も全国各地で開催、カーターの育成にあたります。

増加するカートレース場

カーターの増加にともない、一般のカートレースに対する人気も急激に高まってきています。このようなことからカートレース場も全国的に増え、現在レース開催が可能なカート場は全国に16カ所を数えます。これらのカートコースには休日ともなると、近郊各地から多くのカート愛好者が集まり、地上4cmのコーナーリングで技を競っています。

'75 SL杯カートレース シリーズ戦日程

今年度も多くのカートレースイベントがJAFレースカレンダーに組まれてます。SL



'75SL杯カートレースシリーズ戦日程

シリーズ名	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計
北海道シリーズ				①4/6 ②4/20	③5/11	④6/22	⑤7/20		⑥9/21	⑦10/5			7戦
東北シリーズ					①5/3・4 全日本③ ②5/25	③6/15	④7/13	⑤8/17	⑥9/15 全日本①	⑦10/19	⑧11/23		8戦
筑波シリーズ			①3/2		②5/25	③6/15		④8/31	⑤9/21		⑥11/30		6戦
関東シリーズ		①2/23 ムサシノ	②3/16 所沢	③4/20 全日本② ムサシノ	④5/11 所沢	⑤6/29 ムサシノ	⑥7/27 全日本④ ムサシノ	⑦8/24 全日本⑤ 所沢	⑧10/5 ムサシノ	⑨11/16 所沢	⑩12/7 所沢		10戦
アビスシリーズ	①1/19		②3/30	③4/27	④5/18				⑤9/7			⑥12/21	6戦
東海シリーズ			①3/9	②4/6	③5/25	④6/22	⑤7/13		⑥9/28		⑦11/9		7戦
中部シリーズ	①1/26	②2/16	③3/23 全日本①	④4/13	⑤5/11	⑥6/15	⑦7/6	⑧8/10	⑨9/21	⑩10/26	⑪11/23	⑫12/14	12戦
関西シリーズ			①3/16		②5/25	③6/22	④7/27		⑤9/28	⑥10/19			6戦
山陽シリーズ	①1/12	②3/2	③4/6	④5/18	⑤6/8 全日本④	⑥7/6	未定	⑦9/7	⑧10/5 全日本③	⑨11/30	⑩12/7		10戦
中国シリーズ			①4/20		②6/1	③7/13	④8/10	⑤9/14			⑥11/23		6戦
その他のカートレース 予定											11/2・3 カートブリ		79戦 +10戦

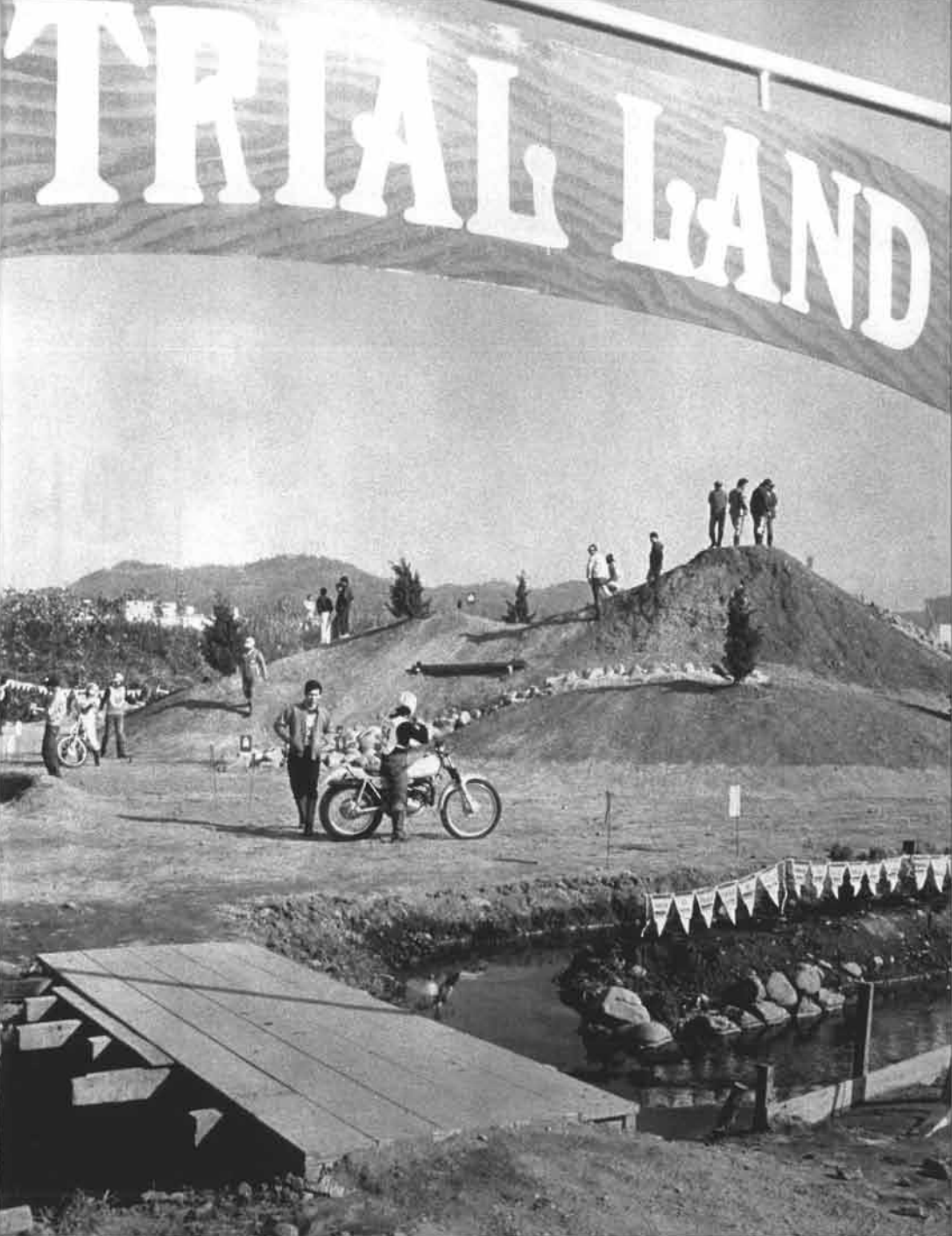
※都合により変更される場合もあります。

カートクラブが主催する「'75 SL杯カートレース」は全79戦。なかにはトップカーターの期待を集める、JAF公認の全日本レースとの併催など、北から南までシリーズ戦を展開します。また、十一月には国内のカーターが集まる「カートブリ」も予定されています。

安全普及活動の一環に

『トライアルランド・マツダ』オープン

オートバイの運転において要求される「バランス・アクセルワーク・ブレーキ操作」の三要素を学ぶのにもっとも適したスポーツ、それがトライアル!!



指定自動車教習所は免許取得の行政業務だけでなく、その後の安全運転指導も併せて行なうべき……と十一月五日に「ヤマハ安全運転推進本部指定校」として安全運転普及および促進に一層の内容充実を果した神奈川県川崎市成町吉田島にある「松田自動車専門学校（田村治平理事長）」に同県では初の「トライアルランド」がオープンしました。

同校の四輪ならびに二輪車用の教習コースに隣接した二、三〇〇平方メートル（約七〇〇坪）の敷地内中央に、高さ約五メートルの小山を築き、小山の頂上に向かって砂利や小石を用いた「ステイプヒル」や「ロッキー」などのさまざまなコース、そして周囲には「ステアケース」をはじめ、人工の池や川の「マディー」や「水場」など、初級から上級者まで練習のみでなく、実際の競技会も開催可能なコースがレイアウトされています。

松田自校では、この「トライアルランド」の建設当初よりヤマハ普及本部との開発構想を進め、基本設計にはヤマハのトライアルライダーやインストラクターの豊富な意見が折り込まれ、他には類をみない内容、施設とも立派なものとなりこの日のオープンとなりました。「トライアルランド・マツダ」としてスタートした今後は、ヤマハと提携で定期的にSLトライアル大会をはじめとする競技会を開催してゆくこと、あわせてトライアル車、TY250の貸出しがきまっております、地元はもとより近県のトライアルライダーの注目を集めています。

おいに利用させていただきますよ——とTY250のユーザー



若者の目指すものを「あれもいけない、これもいけない」というだけでは、若者と大人、若者と社会の接点が永久に失なわれる。若者の行動を先取りして、のびのびと運転技術をみがいて欲しい。これが「トライアルランド・マツダ」の意義です——田村理事長の談話



ロックセクションの登り。音の問題もなく来賓の方々もトライアルのよさを理解

多くの来賓の方がたにトライアルの妙技を披露する木村治男選手と解説役をつとめる大月信和選手(左)



山内一豊の妻、「お千代さん」に代表される「内助の功」(妻は夫を助けつつ……)も、時代とともにその姿、かたちは変わりつつあるようです。

このページは、全国のヤマハ販売店の奥さまをお訪ねし、「わたしの内助論」「女房としてのわたしの幸せ」を語っていただくもの。さて、あなたはどんな「奥さま」でしょうか。乞う自薦他薦。

わが 「内助の功」

いつも明るくふるまっています

高坂かず子さん (25)

(入谷輪業・高坂明男氏夫人)

「えっ?!、「内助の功」ですか、そんなのわたし全然ダメ、取材先を間違えたんじゃないの。販売店のほとんどの奥さまがそうでしょうが、わたしも、主婦。これは厳密に言えば奥さん

業とお母さん業に分かれるのかしら。それと、店員さんを兼ねているんです。このうち、わたしの性分からして主婦業の方はダメね。なにしろ、じつとおとなしくしていることがで



若いお客さまと、いつも明るく楽しく話すかず子さん。「おしゃれな奥さま」としても人気がある

きないのよ。

お店と、住まいがちよっと離れているので朝ごはんを片づけてから、主人よりちよっとおくれてお店へ出勤してくるんですが、お店にいるのが一番楽しいわ。

うちのお客さまは若い人が多いんです。わたしもまだ若いから、現代的というか、はっきりしているというか、今の若い人たちとお話していると、時間のたつのを忘れるくらい。ご覧のとおりわたして「あけっぴろげ」で、思ったことをズバズバ言うでしょう。ワタシのこうしたところが若い人たちと合うみたい。

お客さまもわたしのことを「お姉さん」みたいに感じているらしく、恋人のこと、進学のこと、うちのことなど、いろいろとわたしに話してくれるし、その相談にのってやる人が多いんです。なのに、わたしのことを「タヌキ」だとか「ブー」だとか呼ぶのよ、失礼しちゃうわ。でもそれだけわたしに親しみを感じているということでしょう。わたしも彼らにポンポン言いたいこと言っちゃうの。

いつも冗談言ったり、バカ言ったりしているから、若いお客さまたちもお店に来やすいんじゃないかね。なにしろよく来てくれます。だから、もしわたしに「内助の功」があるとすれば、こうしたワタシの明るさ、くつたくなさといった性分そのものが、それじやないかしら。うちの人、体は大きいけど、ちょっと神経質のところがあるの。もう少しのんびりしててもと思うんですが……。でも夫婦そろってわたしみたいだったら、お店つぶれちゃうかもね。いいコンビだと思ってます。

なんだか結局、ノロケちゃったみたい……。わたしほんとにダメね。お父さんごめんなきい。みなさま失礼しました」

ヤマハ 奥は

春のヤマハまつり・フラワーキャンペーン展開中

お客さま名簿づくりに 奥さまのご助力を

お店の「春のヤマハまつり・フラワーキャンペーン」の反響はいかがですか。

南から北に、桜前線が上昇するにつれてバイクのシーズンはかぶよい鼓動をひびかせます。商売のうえで、また生活面でどうしてもバイクに頼らなければならなかった人も日を追って身軽な出立ちとなり、いままで寒さからバイクを敬遠してきた人も、暖かさが増すにつれバイクに乗りだしてきます。

とくに3月から4月にかけては、入学、卒業、就職にと、人の移動も多く、また新家庭にゴールインする季節でもあります。春休みもあって、バイクのある楽しい生活も、各分野で活発さを増してきます。

この好機に、お店をPRし、お店の信頼度を増し、商圏の拡大に役立つキャンペーンとしてスタートしたのが「春のヤマハまつり・フラワーキャンペーン」です。

お店の特色や商圏の特性を考慮して、どうぞ楽しく、役立つキャンペーンを展



開してください。そのために大きな力を発揮するのがお店の「お客さま名簿」の活用です。

お店の商圏をじっくりと考え、「だれに、なにを、どうアピールするか」を的確に見定めて、DM（ダイレクトメール）を差上げてください。定期点検や代替えのおすすめ、あるいはアフターサービス、用品類のご案内、誕生日や結婚記念日、季節の言葉などを添えてダイレクトメールできるのも、「お客さま名簿」の管理が徹底されていてこそはじめて大きな効果が得られるものです。

せっかく費用をかけて差上げるものなら、差上げてよこばれるものになりたいものです。その点で、ヤマハ奥さまのちよつとした心づかいが生きてくるというものです。

家事に、ご商売に、いろいろとお忙しいお過ごしでしょうが、ご主人さまのよき相談相手として、ぜひ「お客さま名簿」の管理と活用にご助力ください。

ヤマハには「お客さま名簿」の用紙も用意されています。

缶詰の便利な使い方

インスタント食品といえば、これは奥さま方にはもうおなじみの便利な食品ですが、その場で即めしあがれるものといえ、これは缶詰、ビン詰のみぎに出るものはないでしょう。携帯にも便利で、長期の保存が可能な缶詰、ビン詰の発明は、私たちの食生活の中を広げ、食卓を楽しいものとなりました。

ところで、缶詰を愛用している方の中にも缶の匂いがなんとなくならないかという人がいます。この缶臭をなくす方法の一つは、缶詰めをあげたら、必ず別の食器に移すということです。これは保存上からも大切なことです。よく開缶後そのままにして冷蔵庫などに入れておく例をみかけますが、缶の匂いが他の食品に移りますので、必ずガラス器、ほうろくびきの器など、蓋つきのものに移し変えて早目に食べるようにします。

また加熱できる食品であれば、煮たり焼いたり、蒸すなどしても缶臭をとりのぞくことができます。さらに食卓では酢やレモン、酢じょう油など調味料を使うことで、缶の匂いは気にならなくなるものです。

忙しい時間を有効に使うことで、こうしたインスタント食品の利用はおおいにすすめられますが、そこにもアイデアをひらめかせてよりおいしく食べるようにしたいもの。不意のお客さまの来訪にも気のきいた茶受けとして差出すことができるのが缶詰です。



お部屋の衣替えはいつか

お金をかけないで、部屋の雰囲気を変えたい。部屋の雰囲気を変えたい。部屋の雰囲気を変えたい。部屋の雰囲気を変えたい。

そこでまず部屋の寸法をはかって、20分の1もしくは50分の1の平面図をつくり、それと同じに縮尺にした家具の平面図を厚紙でつくります。このタンスはあそこに、あの鏡台はこちらにと、動かしてみようというわけです。飾り棚ひとつ動かしても、部屋の雰囲気はガラリとかわるもの。採光の具合をよく考えて、上手に設計してみてください。

さて実際に家具の移動については、ご主人さまを含めた家族のみならず全員で協力しあってテキパキと行いましょう。家具を動かすと、日頃はできなかったところまで掃除することにもなります。ぞうきんなど、空拭き用もふくめてあらかじめご用意を。

この際、思いきってカーテンやカーペットなどを変えたいものもあるかもしれませんが、それには費用がかかります。壁の汚れやフスマ、障子のほりかえまでいちどきに手をだすととなると予想的にも大変です。これは次回の計画にまわしましょう。

ご主人さまがオヤツと明るい顔をなされたなら、配置換えは成功です。このつぎはお店のモデルチェンジをご主人さまともども考えてみましょう。ヤマハには外装、内装用品がいろいろと取揃えられています。



バイクは若さの象徴よ

チャビイ・オーナー

沢田ちづ子さん (名古屋市西区上堀越町1-27)

ヤマハ奥さま

酒井 明美さん (ラットパトロール・オートモティブ・ヤマハ)



結婚後初の大きなプレゼントがチャビイでした。

沢田ちづ子さん。

二十四才の若い奥さま。

ご主人の恒三氏は乳製品の会社経営者。

このお二人がむすばれたきつかけは、バイクで始まった。デートの場所が鈴鹿サーキットであるというからそうとうなマニアぶりといえよう。当然のことながら、このお二人にとってバイクは思い出を語るのに切りはなせない。そして今も、ちづ子さんのそばには結婚後半年目にご主人がプレゼントしたストロベリーのチャビイがいつもある。

「私がうちの主人を知ったのは今から五年前。ロードレースが好きで、ラットパトロール・ヤマハ」の酒井圭吾さん、明美さん夫妻とよく鈴鹿にいらしたんです。その頃、主

吾さんの友人だった人が今の主人なんです。

明美さんたちと鈴鹿のコースにいくとき、

明美さんがむりやりに主人をさそったんですヨ。その頃は主人もあまりモータースポーツには興味なかったようでしたが、いまでは私の感化や酒井圭吾さんの影響をうけて、大のモータースポーツファンになり、カートをやってみたくないなんていっているんです」

沢田ちづ子さんの自宅とヤマハ販売店「ラットパトロール・オートモティブ・ヤマハ」の酒井圭吾さんのお店はすぐ近く。奥さま同志は大の仲好しで話はずむ。

酒井明美さん ちづ子さんがラットパトロールに来るようになって六年、あの頃はお店に

来るとジーンとバイクを見てたわね。

沢田ちづ子さん 私がバイクに興味を持ったのは高校二年の頃なんです。ヤマハのオートバイ、特にレーサーの赤と白のカラーリングが好きでした。金谷、河崎選手が走っている写真に見とれたり……

明美さん そしてうちの主人とよくロードレースを見に行き、パドックで飛びはねて……

ちづ子さん 今も若いつもりだけど、あの頃はエキゾーストノイズとレーシングマシンのにおいにシビれた。バイクは若さの象徴ですね。明美さん 今でもチャビイに乗っているのはそのため？

ちづ子さん そう。いつまでも若くありたい、主人のためにも、私自身のためにも。

明美さん そうね。結婚するとうちでも運動不足になりがち。出無精になつたり……

ちづ子さん チャビイで近くの空地で遊ぶんです。時々主人をひっぱって行って。それに買物や主人の仕事の手伝いなど気軽に乗れるチャビイは駐車場の心配はいりませんし。明美さん 以前はオートバイに関してはちづ子さんが主導権を持っていたようだけど、今はご主人の方も積極的ネ

ちづ子さん 時々、私のチャビイが見えなくなつたら、主人が乗ってるんです。それも天気が良く暖かいときはばかり。

お二人の話はつづく。

販売店のヤマハ若奥さま酒井明美さんとお客さまの若奥さま沢田ちづ子さんは、お互いにオートバイを介してご主人と仲良く、そして仕事を手伝っている。



チャビィを前にバイクの話はずむ。左は酒井明美さん。

ことごとく
あんなこと

中学校からライディング実習 うらやましいアメリカの教育

前略
諸先輩のみなさま、シーズンむかえてますます順調な発展を上げていること存じます。私も、父より店のバトンを受継いで、兄の征夫と共に、業務の拡大に日夜けんめいに努力しております。

私どもの店は、シヨールームとサービスマムと分離しており、どちらかといえば若いお客さまを対象に、明るいスポーツショップづくりをめざしています。

兄の征夫は営業面を担当し、私はメカニック面のサービスを担当しております。五、六年前まではスポーツライダースに所属し、三室恵義先輩に教えを乞い、ロードレースはセニア、モトクロスはエキスパートジュニアのライセンスをとりました。そしていまは、チームMSRのメンバーとして、もっぱらトライアルに熱中しております。

ところで、そんな私のところに、先日おかつたお客さまがみえました。アメリカンスクールの通うまだ15才の少年で、モトクロス、ライダー、それもプロをめざしたいというのです。まだ免許年令にも達していませんし、

YZを求められても売ってよいものやらどうやら、兄と共に応対に困りました。

話によりますと、アメリカン・スクールでは中学の体育の時間にライディングの単位があり、これをとらないと免許が与えられないということでした。これは本国も同じで、それほどバイクがみんなの生活の中に入っているのですね。ほんとにうらやましく思います。またそれだけに、15才ながらライディング技術はたいしたもの、やはり、若いうちになんでも学んでおくべきですね。こうしたところが、安全運転にどれほど役立っているか測りしれないものがあります。

われわれの努力が足りないのかも知れませんが、日本も一日も早くこうした環境づくりにつくさなければならぬと痛感しました。とりとめのないことを申し上げましたが、これが最近の印象に残っている私のあんなこと、こんなことです。

それではみなさまご活躍のほどを。

西部輸業 金井 政夫

三鷹市下連雀四一六一六

'75内外主要レースカレンダー

	ロードレース				モトクロス				トライアル		
	全日本選手権	世界選手権	FIM F750	AMA	全日本選手権	世界GP 500	世界GP 250	世界GP 125	AMA	全日本選手権	世界選手権
3月2日 3-9日 8-9日 9日 15日 15-16日 22-23日 28-30日 30日	筑波①	フランス①	デイトナ①	デイトナ①	所沢① 関西②					京都③	スペイン③ イギリス④
4月5-6日 6日 12-13日 13日 19-20日 20日 27日 28-29日	鈴鹿② 筑波② 鈴鹿③	イモラ② スペイン②			山口③ 仙台④	スイス①	スペイン①	オーストリア② ベルギー③ フランス①		東京④	フランス⑤
5月4日 4-5日 10-11日 11日 17-18日 18日 24-25日 25日 31-1日 31-6日	筑波④	オーストリア③ 西ドイツ④ イタリア⑤ マン島TT⑥	フランス③		鈴鹿⑤ GP鈴鹿⑥	イタリア② フィンランド③	チェコ④ イギリス②	ポーランド⑤ ユーゴ③ スウェーデン④		宮城⑤	ポーランド⑥
6月1日 7-8日 8日 14-15日 15日 22日 28日 29日	鈴鹿⑤	オランダ⑦			北海道⑧ 北陸⑦	ソビエト④ フランス⑤ アメリカ⑥ カナダ⑦	ユーゴ⑥ ポーランド⑥	オーストリア⑤ ポーランド⑥ 西ドイツ⑦ 西ドイツ⑦ チェコ⑧			イタリア⑦
7月5-6日 6日 13日 19-20日 20日 26-27日 27日	菅生⑥	ベルギー⑧ スウェーデン⑨ フィンランド⑩	スウェーデン④		北海道⑧ 四国⑨	イギリス⑧ 西ドイツ⑨ オランダ⑩	フランス⑨ アメリカ⑨ カナダ⑩	インターAMA① インターAMA② インターAMA③			カナダ⑧ アメリカ⑨
8月2-3日 3日 3-4日 9-10日 10日 16日 17日 24日 31日	鈴鹿⑦	フィンランド⑤ イギリス⑥ ベルギー⑦ チェコ⑩	ラグナセカ④		鈴鹿⑩	ベルギー⑪ ルクセンブルク⑫	スウェーデン⑩ フィンランド⑪ スペイン⑪ ベルギー⑫	インターAMA④			フィンランド⑩ スウェーデン⑪
9月6-7日 6日 7日 13-14日 19-21日 21日 28日	筑波⑧	オランダ⑧ ユーゴ⑫			福岡⑪ 青森⑫					中部⑥	スイス⑫
10月4日 4-5日 5日 11-12日 12日 19日 26日	日本GP⑨	スペイン⑬	オンタリオ⑮		新潟⑬			トランスAMA① トランスAMA② トランスAMA③ トランスAMA④ トランスAMA⑤		和歌山⑦	西ドイツ⑬ チェコ⑭
11月2日 9日 16日 23日 30日								トランスAMA⑥ トランスAMA⑦ トランスAMA⑧ トランスAMA⑨ トランスAMA⑩		日本GP⑧	

お店のモータースポーツ情報としてお役にたください。ヤマハのレース成績については情報の入手次第で掲載の予定です。
 なお、東北に新しいモータースポーツの息吹きをそそぐ「菅生」は5月1日オープンウィークには各種の行事が開催されます。

あなたはどんなプロジェクトをつくる？

プロジェクト改造コンテスト

●特賞⇒100,000円(1点)・優秀賞⇒50,000円(2点)・

佳作⇒10,000円(7点)ご応募者全員に記念品を贈呈

●実施期間⇒3月1日～5月31日(3ヵ月間)●審査発表⇒7月

いまヤマハでは、あなただけの独創的なMon ami Peugeotを募集中です。下記の要領により、ふるってご応募くださるようお願いのお店のお客さまにお知らせください。

●募集内容

プロジェクト完成車に、「性能向上」「安全性の向上」「用途(機能)の変更または拡大」「美観向上」「便利さの向上」などを目的としたアイデアゆたかな改造によるプロジェクト・パリエーションがテーマです。

お客さまの中には、プロジェクト完成車に独自のアイデアをこらして、より使いやすいパーソナル・サイクルを完成している方がいらっしゃいます。あるいは、この機会に日頃胸の中に秘めていた理想のサイクルづくりを手がけてくださる方が登場するかもしれません。

もちろんすでに発表したものでもかまいません。これぞと思われる作品をお知らせください。

●応募の方法

お店にお配りしてあります応募用紙に規定の事項をご記入のうえご応募ください。

応募用紙はこの企画「プロジェクト改造コンテスト」のチラシの裏面をお使いください。

規定事項は

①改造完成車の左右両側面の全体写真(カラー、白黒を問いません)

②改造部分の特長がよく分かる部分写真または簡単な図面

③改造の目的と改造によって得られた利点の説明

④使用車種名およびこの改造車にあなたがつけたい呼び名。使用部品・改造作業の簡単な説明

⑤改造費用

以上のほかに住所・氏名・年齢・職業・電話番号。なお用紙に書ききれない場合は書式にこだわりません。アイデアの権利はヤマハ発動機株式会社に帰属します。

●実施期間

3月1日～5月31日(3ヵ月間)

●送り先

〒438 静岡県磐田市新貝2500

ヤマハ発動機株式会社

営業部プロジェクト改造コンテスト係

●審査基準

A・改造による利点の大きさ

B・独自性・ざん新性

C・改造の難易度

D・改造費用(少ないほうがよい)

E・安全性

F・美観

以上の項目を審査基準とし、総合的に見て審査します。

●審査員

ヤマハ発動機株式会社

●審査発表

昭和50年7月

●賞

特賞 10万円(1点)

優秀賞 5万円(2点)

佳作 1万円(7点)

ご応募いただきました全員のみなさまに記念品をお贈りいたします。



PEUGEOT

新発売

ヤマハヘルメットCS600

安全性とデザインのよさで人気のヤマハヘルメットに、ジェット型のニュータイプが登場しました。特長としてエッジラバーに白糸のステッチを入れ、個性を強調しました。また安全と使いやすさでは、アゴ紐を従来のベルト方式にスナップ方式を併せて採用、フィット性を高め、内部の緩衝材もより強度の高いものとしております。お店の安全用品の仲間にお加えください。色は白とオレンジ、サイズはMとLの二種が用意されています。

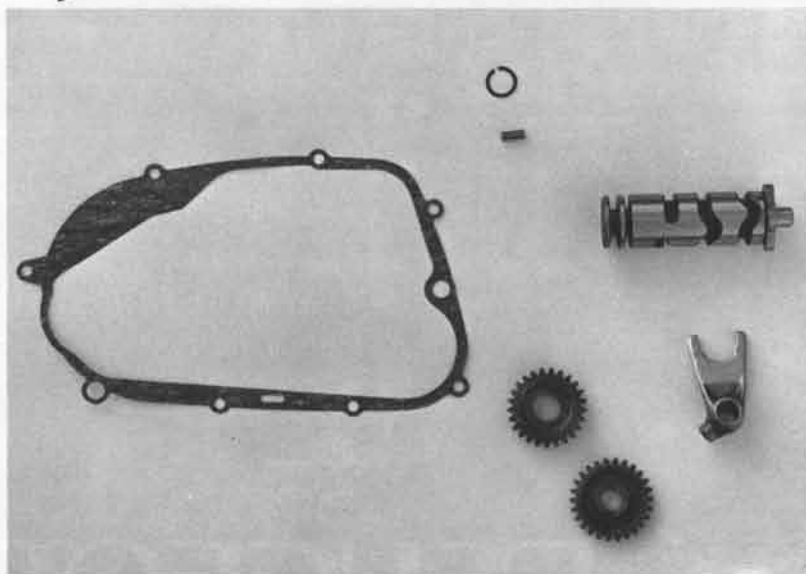


ヤマハヘルメットCS600 ¥7,100

部品番号 白 M 90890-51142
白 L 90890-51143
オレンジM 90890-51146
オレンジL 90890-51147

新発売

GT50/GT80の5速ギヤキット



オール・マイティなバイクとして人気の高い「ヤマハミニGT50/GT80」に「5速ギヤキット」が発売されました。

「ヤマハミニGT50/GT80」は、4速ミッションが標準ですが、この「5速ギヤキット」をつけることで、5速ミッションとなりトップスピード、経済性が増します。

「5速ギヤキット」の内容は、5速ピニオンギヤ、5速ギヤホイール、サークリップ、シフトカムアッセンブリー、フォークシフト3、ダウエルピン、クランクケースカバー、ガスケットの七点で、もちろん運輸省の認定を受けたものです。

部品番号374・000000175。価格は一セット¥4920。

ブラジルでも二輪安全運転活動実施

世界に広がるヤマハ安全教育

ヤマハは日本国内においては各種の安全運転活動を実施するなど、交通安全教育の普及に多大な努力を払って来ていますが、海外でも同様に二輪安全運転活動を活発に行なっています。

一九七三年にアメリカで始められたヤマハの安全教育はLTRと呼ばれるもので、三、四才の幼児から六十過ぎの老人までは幅広い層を対象に、楽しく安全にオートバイに乗る方法を教えるものです。このLTRは現在ではアメリカだけでなくカナダ、オーストラリア、ニュージーランド、フィリピン、イギリ

スの各国においても実施され大好評を博しています。

写真で紹介しているのは、昨年11月にブラジルのサンパウロで行われた中南米初のLTRで、モーターショー開催にあわせ、その会場の駐車場を利用して実施されたものです。日本やアメリカよりもはるかに交通事故の多いブラジルの交通安全当局者もこのタイミングの良い催しに大変好意を見せ、これからの活動に対する全面的な協力を約束してくれました。



6人のインストラクターがRD50を主に使用しての効果的な実技指導



本社普及本部の米倉氏によるトライアル・デモンストレーションに参加者の目が集中

排出ガス規制、ディーゼル排気煙規制、ガソリンの無鉛化と、安全問題を含めていろいろと複雑多岐な問題が山積している自動車界ですが、直接われわれに影響のふかいガソリンの無鉛化についてちょっと一言。

ご承知のように、ガソリンにはオクタン価（アンチ・ノック性＝ノッキング防止）を高めるために四エチル鉛が添加されているのですが、環境汚染防止対策のうち、とくに鉛公害防止対策上で必要とみなされたのがこの四エチル鉛添加の問題で通産省を中心とした関係省庁の指導のもとに、この2月からレギュラーガソリンが無鉛化されたわけです。

ガソリンの無鉛化で問題となるのは4サイクル・エンジンです。というのはガソリンに添加されていた四エチル鉛は、バルブシートに酸化鉛皮膜をつくり、バルブとバルブシートの潤滑油的役割も果たしていたからです。

したがって四エチル鉛が除かれますと、バルブとバルブシートはじかに接触するようになり、摩擦がいちじるしく促進されるということになります。そこで耐久性の問題が生じいろいろと騒がれたというわけです。

通産省の指導で昭和47年4月以降の生産車については無鉛ガソリンの対応策がまかれていますが、

無鉛＝無縁



それ以前の車が問題です。また四輪車のほかに農耕用に使われているトラクターやモーターボート用エンジンもあります。

そこで、このガソリンの無鉛化はレギュラーガソリンにのみとどめ、無鉛でOKのもの＝無鉛、高速で有鉛の混合を必要とするもの＝高速有鉛、常時有鉛の混合を必要とするもの＝混合、常に有鉛のみのもの＝有鉛とに分けて、それぞれのステッカーを貼りガソリンの使用を区分けしたのです。

ですからガソリンの無鉛化はレギュラーガソリンについてであり、プレミアムガソリン（ハイオク）は従来のように有鉛です。そしてすでにお分かりいただいたように、2サイクル・エンジンについては問題ありません。

なお、TXシリーズのヤマハ4サイクル車については、無鉛化ガソリンの対策として開発した特殊合金製のバルブシートを採用しており、レギュラーガソリンの使用で問題ありません。XS650についても、通常の使用では問題ないことがはっきりしています。旧型愛用のお客さまに、どうぞよろしくご説明ください。

それにしてもヤマハオートループの開発で「混合」という言葉を忘れたいま、4サイクルで「混合」ができたとは、ガソリンスタンドの店員さんも大変です。

一日一回は ペダルを踏まんと 落ちつかんたい

熊本県熊本市二本木2の7の17 境 ^{みつぐ}貢さん



店内で高津城さんと次回の「プジョー・サイクリング・クラブ」スケジュールを練る。うしろのサイクリングマップは、高津城さんご自慢のものだ。

境貢さん（68才）と自転車とのつき合いは20年前にさかのぼる。「ご覧のとおり、私は体が小さいでしょう。中年になってから、何か体を鍛えるものをも思っていたとき、タイミングよく、ギヤエムセンターの高津城さんに自転車にのることが奨められたんです。ちよつと迷いましたが、自転車をやってみようと決心したんですよ。この時以来、一日に一回はペダルを踏まないと落ちつかないというほど、境さんは自転車のトリコになってしまったのだ。



「最初のころは、熊本駅近くの自宅から植木まで、国道三号線を毎日往復して持久力をつけました。片道12kmぐらいでしたが約二ヵ月間続けたんです。自分の体力が日毎に増進していくのがわかり、うれしくて仕方ありませんでした。走れば食欲はすすむし、健康な毎日をおくれるよろこびを痛感したものです。その後、境さんは距離を徐々にのばしていった。一昨年までは毎日60〜80kmを走っていた。

コース調べや愛車を手入れする楽しさ、走行時間を短縮するよろこび、自己を克服する厳しさ、そして最終的に、征服したという充実感、これがサイクリングの醍醐味だと境さんはいう。現在、日本サイクリスト協会、熊本サイクリング同好会の会員、そして昨年、ギヤエムサイクルセンターのお客さまたちでつくった「プジョー・サイクリング・クラブ」の会長をつとめる境さんは、全国大会で、北海道、本州、四国へ渡り、地元九州はほとんど限なく踏んでいる。



「ここから見るのが一番美しい」と、熊本城でひと休みする境さん。

プジョーが5台、全部で7台

ペダルを踏むことが快適で、そのためにお金を使うことは、いっこうに苦にならぬという境さんは、現在7台のスポーツ車を持っている。そしてそのうちの5台がプジョーである。坂道の多少、距離の長短など、コースによって乗りわけている。輪行用、折りたたみ、ギヤもシングルから10段まで、まさに「マニア」である。抜群のブレーキ性能、一流パーツのよさを誇るプジョーを、ほんとうに理解して踏んでくれている「ベテラン」なのだ。

中年以降からのスポーツはサイクリングが一番と語る境さんは、坂道では若い者には決して負けないと自信満々である。お気に入りのプジョーの帽子をかぶり、タイト姿で、毎日颯爽とペダルを踏む境さんは、いまでは、市内の名物男だ。元気な「プジョーおじいちゃん」は今日も軽快にペダルを踏んでいる。

大地をもっと知るための50cc。 新発売。

——トライアル・ランを真上からとらえたぞん新な構成のこの広告は、「モーターサイクリスト」「オートバイ」「ヤングマシン」などバイクの専門誌に出稿されたカラー、見開き2ページの「ヤマハトライアルTY50」の新発売広告です。

——自然の中を走る、不整地の障害をゆっくりと確実に走破していく。こうした条件で養われるバイクのコントロール技術はオン・ロードでの安全をより確かなものへと高めます。トライアル競技の普及で、こうしたバイクの使用法に新しい目が向けられているいま「TY50」の登場は、販売店さまにとっても心強いものでありましょう。

——大地をもっと知るための50cc。ヤマハはこのヘッドコピーをもって、初心者、ベテランの別なく、新しいバイク「TY50」を広くPRしています。

Motorcycle Rider MAR 75
●輸入販売ホンダのオートマチックCB750Sキヤッパ!
●テスト・モトクッパV1000コンバート
●最新型・ホンダのエンジン
●自分で出来るマイナーチェンジ

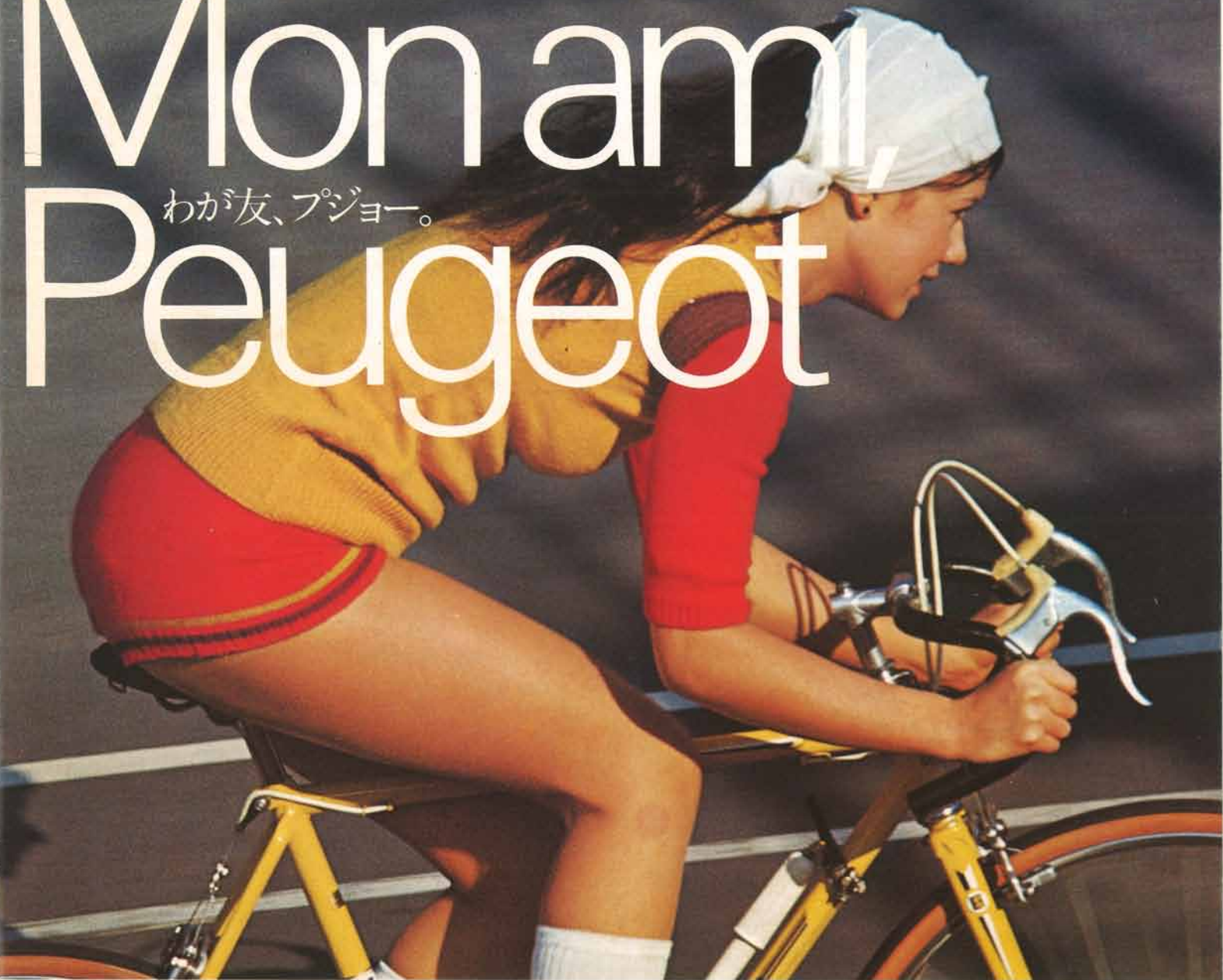
Young Machine 1975 3
フルサイズのオートバイマシン

Auto Bike 1975 3
Two People Rally Magazine March 1975
特集1:国産トライアルマシンのすべて
●最新型V500S登場!
特集2:最新メーカー秘密情報!
●最新型V500Sはこうして決まる

大地をもっと知るための50cc.
新発売。

TY50
YAMAHA

Mon ami, わが友、フジオー。 Peugeot



スワ!ジャンプ。力強くまっすぐ着地。

「アア…危い！」不意にあらわれた溝や穴。もちろんスピードは充分にのっています。急ブレーキですか、それとも……。ここで迷ってはいけません。思いきりジャンプです。ハンドルをしっかり握り、サドルから腰を浮かし、立ち上がるように自転車を持ち上げてください。問題は着地。少しでも前車輪が斜めにつくと、タイヤ、リムを傷めるだけでなく、もんどりうって体が落ちかねません。あくまでも前車輪は進行方向にまっすぐに。この走行は、サイクリストのテクニックもさることながら、自転車の性能の良し悪しが大きなウエイトを占めます。フランス生まれの自転車<フジオー>。多少の衝撃にもビクともしないスーパーチャンピオン製、マビック製、リジダ製のリムや、世界でも屈指のミシュラン、ウォルバー、ユッチンソン製のタイヤが、力強くあなたを支えてくれます。でも、ジャンプは極力さげたいもの。安全第一で走りましょう。



スピードサイクリングに最適なフジオー快走車のベストセラー(21-27×1寸) ●外装10段サンプレックス製ディレーラー(50-40T, 14-17-20-24-28T) ●マフック(レーサー)センターブルキャリアー ●ミシュランまたはユッチンソン製セミオープンサイド ●サンプレックス・クイックリリース ●補修キット入りツールバッグ ●15.5kg ¥57,000

PEUGEOT



フジオー・サイクル